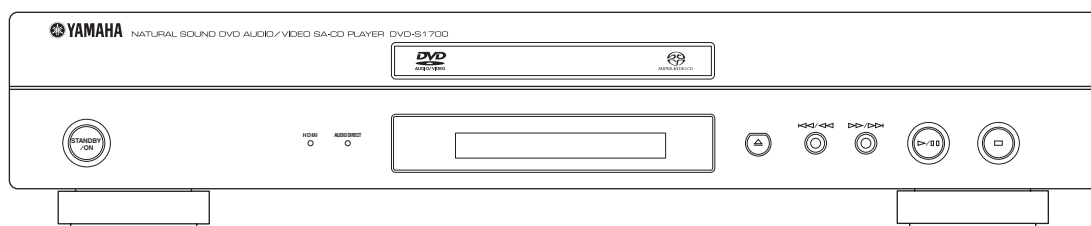




DVD AUDIO/VIDEO SA-CD プレーヤー

DVD AUDIO/VIDEO SA-CD PLAYER

DVD-S1700



取扱説明書

ヤマハ DVD AUDIO/VIDEO SA-CD プレーヤー DVD-S1700 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

安全上のご注意




ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。 ● 異常に高温になる。
 - 内部に水や異物が混入した。 ● 煙が出る。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかるところ
- 水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 仰向けや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (本機の周囲に左右 2.5 cm、上 2.5 cm、背面 2.5 cm 以上のスペースを確保する。)
- 本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。



手を挟まれないよう注意

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

電源/電源コード



必ず実行

必ず付属の専用電源コードを使用する。

専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因になります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行



使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

必ず実行

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気が多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

注意

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

プラグを抜く

使用上の注意



電源を入れる前や、再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

必ず実行



音が歪んだ状態で長時間使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止



ディスクの挿入口には手を入れない。

本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。

禁止



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。

ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。

禁止



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

注意



レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光が目当たると、視覚障害の原因になります。

禁止



業務用機器とは接続しない。

デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

禁止

手入れ



手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

必ず実行



薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

禁止



年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

注意

もくじ

はじめに 3

再生できるディスク／フォーマット	3
リージョンコードについて	3
著作権について	4
ディスクのお手入れについて	4
付属品を確認する	4

各部の名称とはたらき 5

フロントパネル（本体前面）.....	5
ディスプレイ	6
リアパネル（本体背面）.....	7
リモコン.....	8

接続する 10

接続に関するご注意	10
オーディオ接続	10
ステレオアンプを接続する	10
マルチチャンネル／デジタル入力対応の アンプを接続する	10
ビデオ接続.....	11
電源コードを接続する	12

操作前の準備と設定 13

ステップ1：リモコンに電池を入れる	13
リモコンを使用する	13
ステップ2：電源を入れる	14
ステップ3：映像方式を設定する	14
ステップ4：言語を設定する	15
オンスクリーンディスプレイ（OSD）の 言語を設定する	15
ディスク（音声、字幕、ディスク メニュー）の言語を設定する	15

操作する 16

基本的な再生操作	16
再生を一時停止する	16
チャプター／トラックを選んで再生する... ..	16
早戻し／早送り／スロー再生する	17
繰り返し再生する（リピート再生）	17
選択中の項目を繰り返し再生する	17
指定した範囲を繰り返し再生する （DVD-Audio / MP3 / WMA / JPEG を除く）	17
ランダムに再生する（DVD / DivX / SA-CD を除く）	17
お好みの順序で再生する（CD）	18
ディスクメニューを操作する （DVD / VCD / SVCD）	18
DVD メニューを操作する	18
プレイバックコントロールメニューを 操作する（VCD / SVCD）	19
OSD メニューを操作する （DVD / VCD / SVCD / SA-CD）	19
OSD メニューで再生設定を変更する （DVD / VCD / SVCD / CD）	19
テキスト情報を表示する（SA-CD）	20
映像を拡大する（DVD-Video / VCD / DivX / JPEG）	20
アングルを選択する（DVD-Video）	21
音声／字幕言語を選択する （DVD-Video / VCD）	21
音声言語を選択する	21
字幕言語を選択する（DVD-Video）	21
ページを切り替える（DVD-Audio）	21
グループ／ファイルを選択する （DVD-Audio / DivX / MP3 / WMA / コダック）	21
グループを選択する（DVD-Audio）	22
ファイルを選択する （DivX / MP3 / WMA / コダック）	22
ボーナスグループを再生する （DVD-Audio）	22
再生エリアを切り替える（SA-CD）	22
MP3 / WMA / DivX / JPEG ファイルを再生する	23
サムネイル（縮小画像）を表示する （JPEG）	23
画像を回転させて表示する（JPEG）	23

各種設定を変更する (SETUP メニュー) 24

メニュー一覧表.....24

基本的なメニュー操作.....25

一般設定 (GENERAL メニュー).....26

DVD オーディオモードを設定する26

SA-CD モードを設定する.....26

OSD 言語を設定する.....26

視聴制限レベルを設定する
(パレンタルコントロール).....26

パスワードを設定する26

スクリーンセーバーを設定する.....27

オートスタンバイを設定する.....27

スリープタイマーを設定する.....27

設定を初期化する27

DivX® VOD 登録コードを表示する27

音声設定 (AUDIO メニュー).....28

アナログ出力を設定する28

デジタル出力を設定する28

LPCM 出力を設定する.....28

ナイトリスニングモードを設定する.....28

スピーカー設定 (SPEAKER メニュー)28

スピーカーのサイズを設定する.....29

スピーカーの距離を設定する.....29

スピーカーの出力レベルを設定する.....30

SA-CD のスピーカー出力を設定する30

カットオフ周波数を設定する (SA-CD)...30

映像設定 (VIDEO メニュー).....30

映像サイズを設定する31

映像方式を設定する.....31

静止画の画質を設定する31

プログレッシブモードを設定する.....31

映像の画質を設定する32

HDMI 設定 (HDMI メニュー)32

HDMI 映像の解像度を設定する32

ワイドスクリーンの映像表示を設定する...33

DVI 出力レンジを設定する33

HDMI 音声出力を設定する33

ディスク設定 (DISC メニュー).....34

DVD 再生時の言語を設定する34

アングルマーク表示を設定する.....34

プレイバックコントロール機能を
設定する34

スライドショーの画像表示時間を
設定する34

言語コード一覧 35

故障かな?と思ったら 36

用語解説 38

主な仕様 41

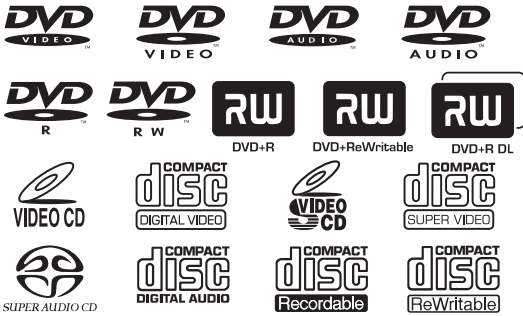
はじめに

本書は DVD-S1700 の基本的な接続および操作方法について説明しています。

- 「ご注意」では操作・設定を行う際に留意すべき事項、※では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由により、実際の製品や梱包箱と内容が一部異なる場合がございますのでご了承ください。

再生できるディスク／フォーマット

- 本機は以下のディスクを再生できます。
DVD Video、DVD Audio、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD+R DL (デュアルレイヤー)、ビデオ CD (VCD)、スーパービデオ CD (SVCD)、スーパーオーディオ CD (SA-CD)、音楽 CD、CD-R/RW



- 本機は以下のファイルやフォーマットを再生できます。
 - CD-R(W)/DVD-R(W)/DVD+R(W) に記録された MP3、WMA、およびピクチャー (コダック、JPEG) ファイル
 - ISO 9660 対応の JPEG フォーマット (最大表示文字数：14、表示可能文字：アルファベットのみ)
 - CD-R(W)/DVD-R(W)/DVD+R(W) に記録された DivX® ディスク
 - DivX® Certified 製品
 - 標準の DivX® メディアファイル再生機能が付いた DivX® ビデオ (DivX® 6 を含むすべてのバージョンに対応)

ご注意

- ファイナライズされていない CD-R(W)、DVD-R(W)、DVD+R(W) ディスクは再生できません。ファイナライズとは、再生対応機器で再生できるよう処理することです。
- DVD-R(RW) のビデオレコーディングフォーマットで記録されたディスクの再生には対応していません。
- コピーガード機能に対応している WMA ファイルは再生できません。
- 記録方法 (PC 環境やソフトウェアなど) やディスクの状態 (傷やそりがあるなど) によっては再生できない場合があります。
- 信用できるメーカーの CD-R および CD-RW ディスクを使用してください。ディスクの特性によっては、再生できない場合があります。
- ハート型など特殊形状のディスクは使用しないでください。
- テープやシールなどを貼ったり、のりをつけたりしたディスクを使用しないでください。本機内部を傷付ける原因になります。
- 市販のラベルプリンターで、表面にラベル印刷をしたディスクは使用しないでください。

リージョンコードについて

一般の DVD プレーヤーと DVD ビデオにはリージョンコード (発売地域ごとに割り当てられた識別番号) が決められています。本機では下表のディスクを再生できます。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

仕向け	本機のリージョンコード	再生できるディスクのリージョンコード
日本		 または複数のリージョンコードに 2 が入っているディスク

機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値 (1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

著作権について



ドルビーラボラトリーズからの実施権により製造されています。「ドルビー」およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS および DTS Digital Surround はデジタルシアターシステムズの登録商標です。



DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。



DCDi は、Genesis Microchip Inc. の事業部門である Faroudja の商標です。



HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の視聴用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ディスクのお手入れについて

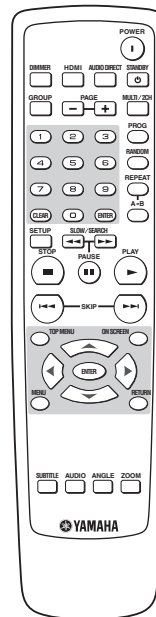
- ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で、ディスクの中心から外側へ向けて拭いてください。円を描くように拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、市販のレンズクリーナー、レコードクリーナーなどは使用しないでください。



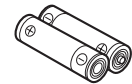
付属品を確認する

梱包箱を開封後、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

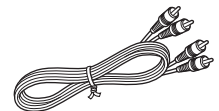
リモコン



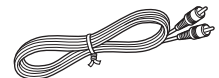
単4電池 (2本)



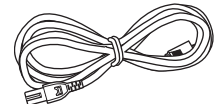
音声ピンケーブル



映像ピンケーブル

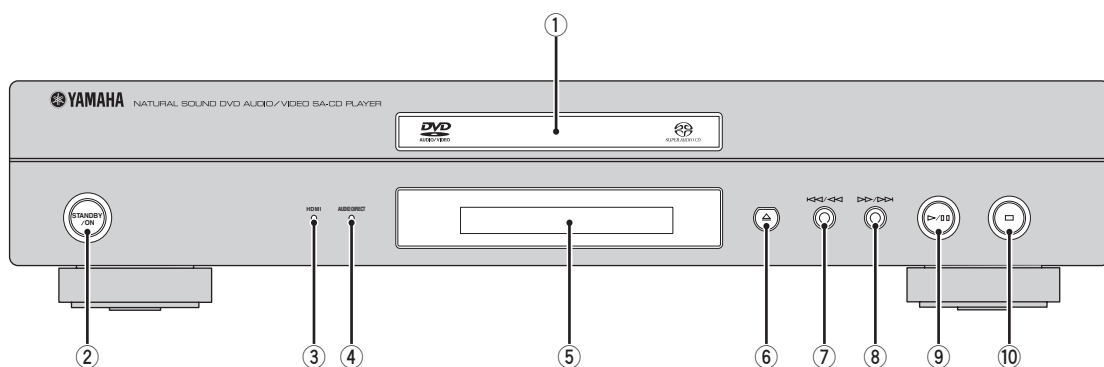


電源コード



各部の名称とはたらき

フロントパネル（本体前面）



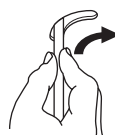
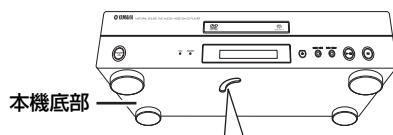
- ① ディスクトレイ
ディスクをセットします。
- ② スタンバイ オン **STANDBY/ON**
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。
- ③ **HDMI インジケータ**
HDMI モードがオンに設定されている際、本機が HDMI 機器を認識している場合は緑色に点灯し、HDMI 機器を認識していない場合はオレンジ色に点灯します。
- ④ オーディオ ダイレクト **AUDIO DIRECT インジケータ**
リモコンの AUDIO DIRECT キーを押して、オーディオダイレクトモードを選択すると点灯します。
- ⑤ ディスプレイ
再生の状態や設定を表示します。
- ⑥ **△**
ディスクトレイを開閉します。
- ⑦ **⏮/⏪**
再生中のチャプターまたはトラックを頭出しします。
3 秒以上押し続けると早戻しします。
- ⑧ **⏩/⏭**
次のチャプターまたはトラックを頭出しします。
3 秒以上押し続けると早送りします。
- ⑨ **▶/⏸**
ディスクの再生を開始または一時停止します。
- ⑩ **⏹**
ディスクの再生を停止します。

■ 異常時にディスクを取り出す方法

本体の **△** キーを押してもディスクトレイが開かず、ディスクを取り出せなくなった場合、右図の方法で強制的に取り出せます。

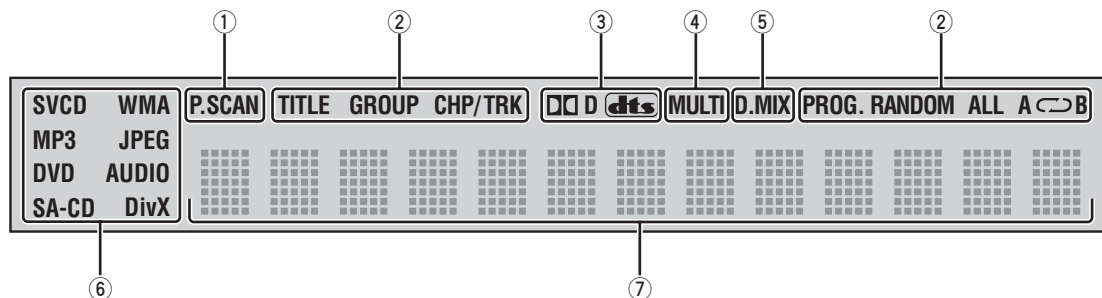
ご注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 直径 3mm 以下/長さ 5cm 以上の細長い棒（ドライバーなど）を使用してください。
- 木製の棒は使用しないでください。中で折れることがあります。



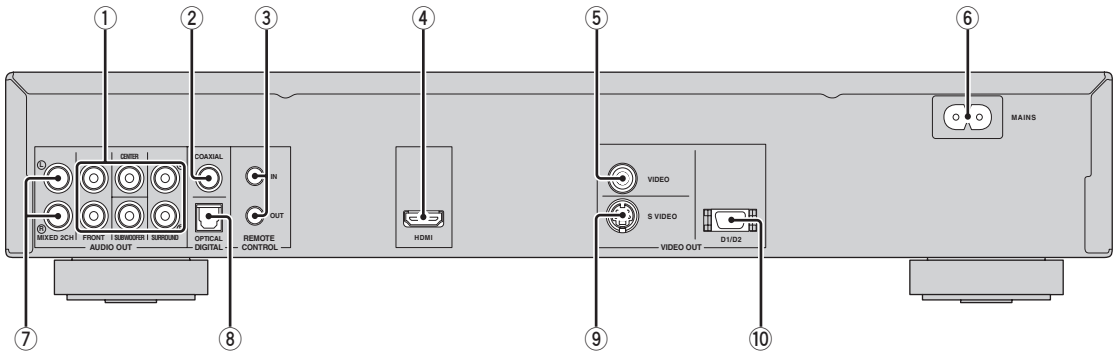
1. 棒（ドライバーなど）を本機に対し直角に入れ、止まるまで奥に差し込む
2. 右方向へ数回動かす

ディスプレイ



- ① ^{スキャン} P.SCAN インジケーター
プログレッシブ信号を出力しているときに点灯します。
- ② 再生モードインジケーター
選択している再生モードのアイコンが点灯します。
- ③ デコーダーインジケーター
使用しているデコーダーのアイコンが点灯します。
- ④ ^{マルチ} MULTI インジケーター
マルチチャンネルの音声ソースを再生しているときに点灯します。
- ⑤ ^{ミックス} D.MIX インジケーター (DVD-Audio のみ)
再生しているマルチチャンネルの音声ソースが 2 チャンネルヘダウンミックス可能なときに点灯します。
- ⑥ ディスクインジケーター
再生しているディスクの種類に応じて、アイコンが点灯します。
- ⑦ **メインディスプレイ**
タイトル／チャプター／トラック番号や経過時間など、さまざまな情報を表示します。
- ☼**
リモコンの DIMMER キーで、フロントパネルディスプレイの明るさを調節できます。

リアパネル (本体背面)



オーディオ アウト
① **AUDIO OUT (マルチチャンネル) 端子**
AV 機器のマルチチャンネル入力端子に接続します。

デジタル コアキシャル
② **DIGITAL (COAXIAL) 端子**
AV 機器の同軸入力端子に接続します。

リモート コントロール イン アウト
③ **REMOTE CONTROL (IN/OUT) 端子**
コントロール拡張用端子です。

④ **HDMI 端子**
AV 機器の HDMI 入力端子に接続します。

ビデオ アウト ビデオ
⑤ **VIDEO OUT (VIDEO) 端子**
AV 機器のコンポジットビデオ入力端子に接続します。

メインズ
⑥ **MAINS 端子**
電源コードを接続します。

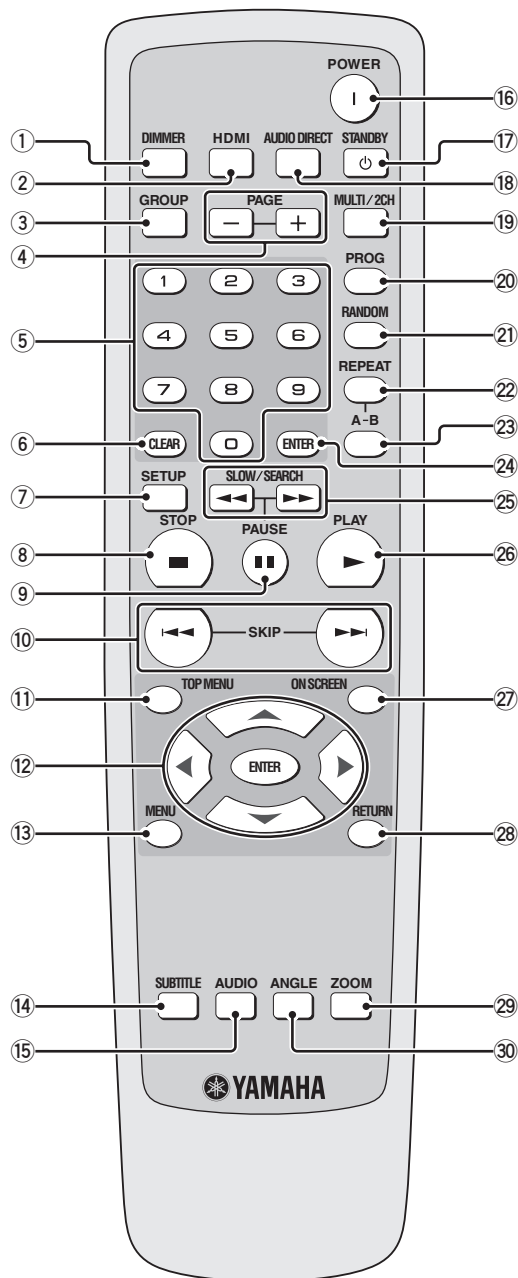
オーディオ アウト ミックスド チャンネル
⑦ **AUDIO OUT (MIXED 2 CH) 端子**
AV 機器の音声入力端子に接続します。

デジタル オプティカル
⑧ **DIGITAL (OPTICAL) 端子**
AV 機器の光入力端子に接続します。

ビデオ アウト ビデオ
⑨ **VIDEO OUT (S VIDEO) 端子**
AV 機器の S ビデオ入力端子に接続します。

ビデオ アウト ビデオ
⑩ **VIDEO OUT (D1/D2) 端子**
AV 機器の D1/D2 ビデオ入力端子に接続します。

リモコン



- ① ^{ディマー} **DIMMER** キー
ディスプレイの明るさ（明るい／暗い／オート）を設定します。「オート」に設定した場合、ディスクを再生しているときのみ、ディスプレイが自動的に暗くなります。
 - ② **HDMI** キー
HDMI モード（オン／オフ）を切り替えます。
 - ③ ^{グループ} **GROUP** キー
DVD オーディオのグループを選択します。
 - ④ ^{ページ} **PAGE (+/-)** キー
DVD オーディオの静止画像を選択します。
 - ⑤ **数字キー (0～9) キー**
メニュー画面などで数字を入力します。2桁の数字を入力するときは、1桁目の数字を入力し、そのあとすぐに2桁目の数字を入力します。
 - ⑥ ^{クリア} **CLEAR** キー
モードや設定を取り消します。
 - ⑦ ^{セットアップ} **SETUP** キー
セットアップメニューをテレビ画面に表示します。
 - ⑧ ^{ストップ} **STOP (■)** キー
ディスクの再生を停止します。
 - ⑨ ^{ポーズ} **PAUSE (||)** キー
ディスクの再生を一時停止します。画像再生時には、キーを押すごとにコマ送りします。
 - ⑩ ^{スキップ} **SKIP (◀◀/▶▶)** キー
再生中のチャプター／トラック、または次のチャプター／トラックを頭出しします。
 - ⑪ ^{トップメニュー} **TOP MENU** キー
ディスクに収録されているメニューを操作中、最初のメニュー画面に戻ります。
 - ⑫ **カーソル (▲/▼/◀/▶)** キー
メニュー画面などで項目を選択するときに使用します。
- ^{エンター} **ENTER** キー
選択したメニュー項目などを決定します。

- ⑬ ^{メニュー}**MENU キー**
ディスクに収録されているメニューを表示します。
- ⑭ ^{サブタイトル}**SUBTITLE キー**
字幕言語を切り替えます。
- ⑮ ^{オーディオ}**AUDIO キー**
音声言語やフォーマットを切り替えます。
- ⑯ ^{パワー}**POWER (I) キー**
電源モードをオンにします。
- ⑰ ^{スタンバイ}**STANDBY キー**
電源モードをスタンバイにします。
- ⑱ ^{オーディオ} ^{ダイレクト}**AUDIO DIRECT キー**
ビデオ出力のオン/オフを切り替えます。(本機が HDMI 機器を認識しているときは、この機能は使用できません。)
AUDIO DIRECT モードで再生中は、ディスプレイが消灯します。本機の電源モードをオフにすると AUDIO DIRECT モードは解除されます (SA-CD 再生後は、ディスクトレイが開/閉されても解除されます)。
- ⑲ ^{マルチ} ^{チャンネル}**MULTI/2 CH キー**
音声出力 (ステレオ、マルチチャンネル) を切り替えます。
SA-CD の再生エリアを切り替えます。
- ⑳ ^{プログラム}**PROG キー**
プログラム再生のためのメニューをテレビ画面に表示します。
- ㉑ ^{ランダム}**RANDOM キー**
順不同に再生します。
- ㉒ ^{リピート}**REPEAT キー**
チャプター、トラック、タイトル、グループ、またはディスク全体を繰り返し再生します。
- ㉓ **A-B キー**
選択した範囲を繰り返し再生します。
- ㉔ ^{エンター}**ENTER キー**
選択したメニュー項目などを決定します。
- ㉕ ^{スロー} ^{サーチ}**SLOW/SEARCH (◀◀ / ▶▶) キー**
早戻し、早送り、またはスローで再生します。
- ㉖ ^{プレイ}**PLAY (▶) キー**
ディスクの再生を開始します。
- ㉗ ^{オン} ^{スクリーン}**ON SCREEN キー**
本機の OSD メニューをテレビ画面に表示します。
- ㉘ ^{リターン}**RETURN キー**
セットアップメニューを操作中、1 つ前のメニューに戻ります。
- ㉙ ^{ズーム}**ZOOM キー**
画像を拡大して表示します。
- ㉚ ^{アングル}**ANGLE キー**
マルチアングル (複数の角度から映像を収録) の DVD ビデオ再生時にアングルを切り替えます。
- 🔍
2 つの ENTER キー (⑱、㉔) の機能は同じです。本書の操作手順で「ENTER キーを押す」と説明がある場合、どちらの ENTER キーを押しても同じように操作できます。

接続する

接続に関するご注意

ケーブル接続を行う前に、本機の電源モードがオフになっていて、電源コードがコンセントから外れていることをご確認ください。

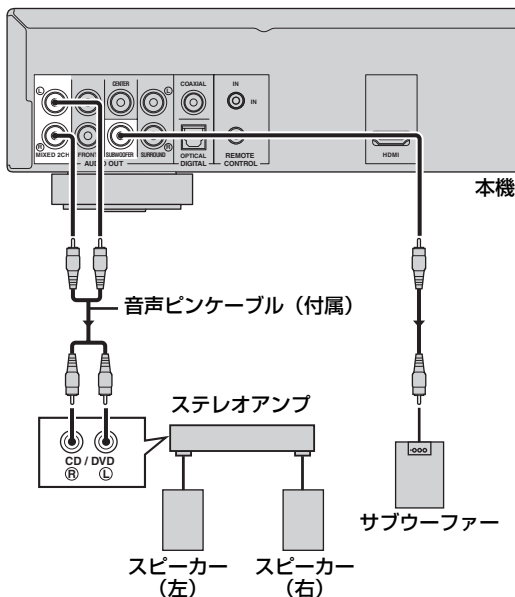
- 接続する機器により、使用するケーブルおよび端子が異なります。下記の説明文および接続図を参考に、接続してください。
- 接続する機器の機能については、ご使用の機器に付属している取扱説明書をお読みください。
- ビデオデッキ経由で本機の映像信号を出力しないでください。ビデオデッキのコピーガード機能により、映像が正しく表示されない場合があります。
- 本機の AUDIO OUT 端子とオーディオ機器（AV アンプなど）の PHONO 入力端子を接続しないでください。

オーディオ接続

本機はデジタル音声出力端子（同軸、光デジタル）およびアナログ音声出力端子（6ch、MIXED 2ch）を装備しています。接続する機器の音声入力端子に応じて、いずれかの方法で接続してください。

ステレオアンプを接続する

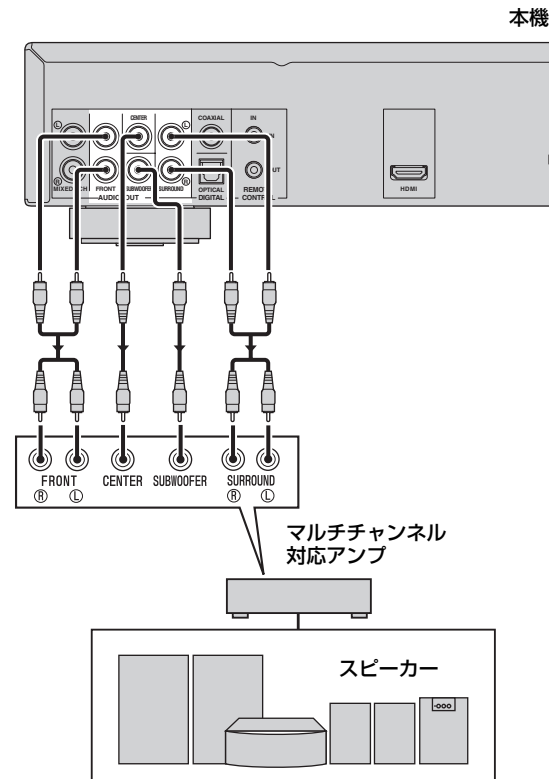
付属の音声ピンケーブル（赤、白）を使用して、本機の AUDIO OUT (MIXED 2CH) 端子とステレオアンプの音声入力端子を接続します。サブウーファーを使用する場合は、市販の音声ピンケーブルを使用して、本機の SUBWOOFER 端子に接続してください。



マルチチャンネル／デジタル入力対応のアンプを接続する

■ アナログ接続

SA-CD や DVD オーディオなどのマルチチャンネル音声を出力する場合は、付属および市販の音声／映像ピンケーブルを使用して、本機の AUDIO OUT (マルチチャンネル) 端子とアンプの音声入力端子を接続します。



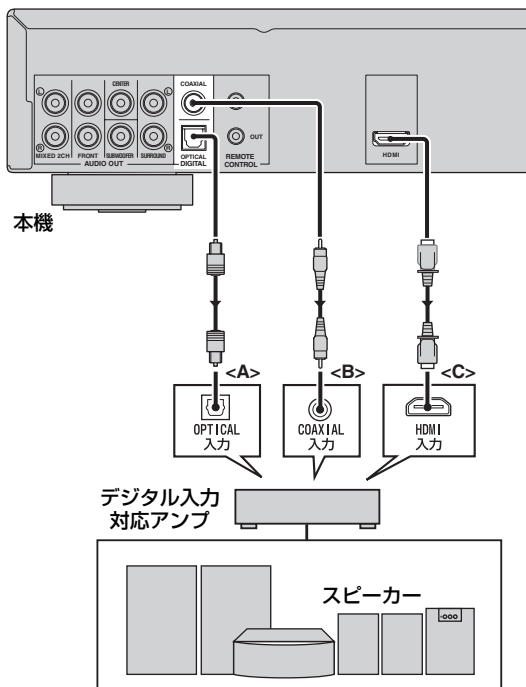
■ デジタル接続

ドルビーデジタルや DTS などのデジタル音声を出力する場合は、下記のいずれかの方法で本機とデジタル入力対応アンプを接続してください。

<A> 市販の光ファイバーケーブルを使用して、本機の **DIGITAL (OPTICAL)** 端子とアンプの音声入力端子（光デジタル）を接続します。

 市販の同軸ケーブルを使用して、本機の **DIGITAL (COAXIAL)** 端子とアンプの音声入力端子（同軸デジタル）を接続します。

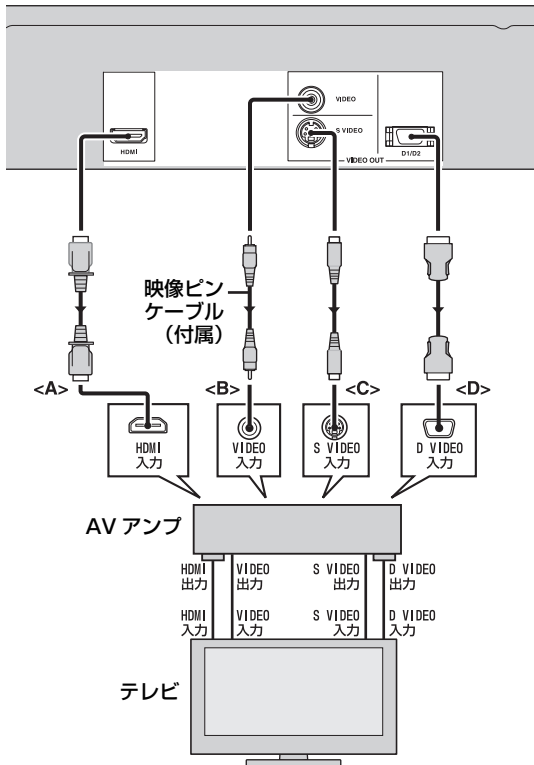
<C> 市販の HDMI ケーブルを使用して、本機の **HDMI** 端子とアンプの HDMI 入力端子を接続します。HDMI 接続について詳しくは、「HDMI 端子 <A>」（12 ページ）をご参照ください。



ビデオ接続

本機は 4 種類の映像出力端子（コンポジットビデオ端子、S ビデオ端子、D 端子、HDMI 端子）を装備しています。接続する AV アンプの映像入力端子に応じて、いずれかの方法で接続してください。AV アンプ経由でテレビと接続することにより、AV アンプの入力切替だけで簡単に AV アンプに接続した映像機器（LD プレーヤー、ビデオデッキなど）のソースを選択することができます。

本機



ご注意

- 光デジタル<A>または同軸デジタルで接続した場合は、「デジタル出力」を「All」に設定してください。詳しくは「デジタル出力を設定する」(28 ページ)をご参照ください。
- ご使用のアンプが本機で設定した音声フォーマットに対応していない場合、音声が正しく出力されません。この場合は AUDIO キーを繰り返し押し、アンプが対応している音声フォーマットを選択してください（同時に音声言語も選択できます）。
- SA-CD の音声信号は、DIGITAL (OPTICAL、COAXIAL、HDMI) 端子からは出力されません。
- ドルビーデジタル、DTS、MPEG 形式のデジタル音声を出力する場合は、各フォーマットに対応しているアンプをご使用ください。

■ HDMI 端子 <A>

市販の HDMI ケーブルを使用して、本機の HDMI 端子と AV アンプの HDMI 入力端子を接続します。同様に AV アンプとテレビを接続してください。HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は、高品質な映像信号および音声信号を 1 本のケーブルで伝送します。ご使用の AV アンプに HDMI 端子が装備されていない場合は、テレビの HDMI 入力端子に直接接続することも可能です。

ご注意

- HDMI 信号を出力するには、リモコンの HDMI キーを押して、HDMI モードをオンにしてください。
- DVI-D端子を装備したHDCP対応ディスプレイなどと接続する場合は、市販の HDMI-DVI 変換ケーブルをご使用ください。ただし、この接続では音声信号は伝送されないため、HDMI 以外のオーディオ接続を行ってください。

■ コンポジットビデオ端子

付属の映像ピンケーブル（黄）を使用して、本機の VIDEO OUT (VIDEO) 端子と AV アンプの映像入力端子（コンポジット）を接続します。同様に AV アンプとテレビを接続してください。

■ S ビデオ端子 <C>

市販の S ビデオケーブルを使用して、本機の VIDEO OUT (S VIDEO) 端子と AV アンプの映像入力端子（S ビデオ）を接続します。同様に AV アンプとテレビを接続してください。

■ D1/D2 端子 <D>

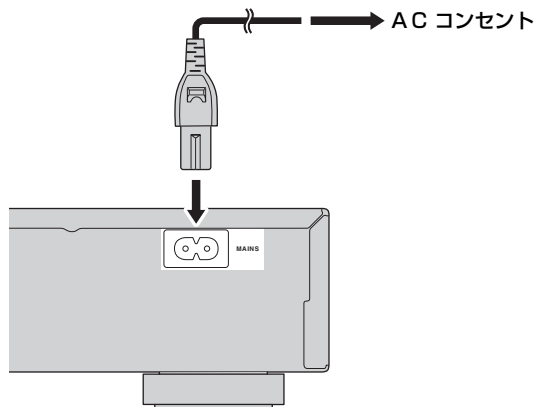
市販の D 端子ケーブルを使用して、本機の VIDEO OUT (D1/D2) 端子と AV アンプの映像入力端子（D1/D2）を接続します。同様に AV アンプとテレビを接続してください。ご使用の AV アンプに D 端子が装備されていない場合は、テレビの映像入力端子（D1/D2）に直接接続することも可能です。

ご注意

本機が対応している D 端子の規格は D1、D2 です。ご使用の AV アンプおよびテレビがこれ以外の規格に対応している場合でも、本機の映像は D1 または D2 で出力されません。

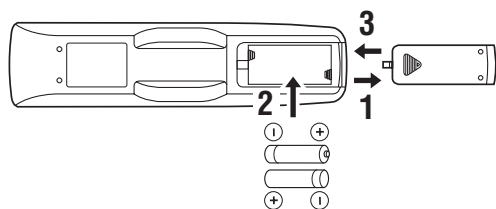
電源コードを接続する

すべての接続が終了したら、電源コードを本機の MAINS 端子にしっかりと差し込み、家庭用 AC100V、50/60Hz の AC コンセントに電源プラグを接続します。



操作前の準備と設定

ステップ1：リモコンに電池を入れる



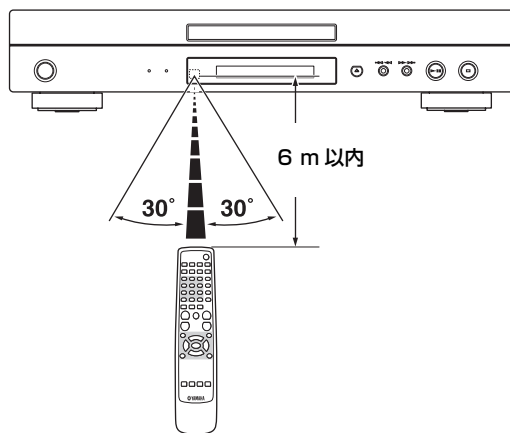
- 1 バッテリーカバーの \blacktriangledown マークを押しながら、カバーをリモコンから取り外す。
- 2 電池ケース内に記載されている極性（+/-）にしたがって、付属の単4乾電池（2本）を、電池ケースに挿入する。
- 3 バッテリーカバーをリモコンに装着する。

ご注意

- 電池の向き（+/-極性）を正しく挿入してください。誤った向きで挿入すると、液漏れの原因となります。
- 使い切った電池はただちにリモコンから取り出してください。リモコンに挿入したままにしておくと、液漏れの原因となります。
- 電池が液漏れしている場合は、ただちに電池をリモコンから取り出し、廃棄してください。その際、肌や衣服が漏れているバッテリー液に触れることのないよう十分ご注意ください。リモコンにバッテリー液が付着している場合はきれいに拭き取ってから新しい電池を挿入してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の異なる電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性質の異なる場合がありますのでご注意ください。
- 使い切った電池は地域の条例または取り決めにしたがって廃棄してください。

リモコンを使用する

リモコンで本機を操作する際は、リモコンの赤外線送信部を本体のリモコン受光窓に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から6 m以内で正面から左右に30度以内です。



ご注意

- リモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
- リモコンを落としたり、リモコンに強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
- リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
 - 湿度が高い場所（風呂場など）
 - 気温が高い場所（ストーブやヒーターの近くなど）
 - 極端に気温が低い場所
 - ほこりっぽい場所

ステップ2：電源を入れる

- 1 電源コードが正しくACコンセントに接続されていることを確認する。
- 2 TV や AV アンプの電源を入れる。
- 3 AV アンプの入力を本機に切り替える。
(詳しくはご使用の機器に付属している取扱説明書をお読みください。)
- 4 本体の **STANDBY/ON** (またはリモコンの **POWER(I)** キー) を押して、本機の電源を入れる。
→ 本機のディスプレイが点灯します。
- 5 テレビのビデオ入力をAVアンプに切り替える。
(詳しくはご使用の機器に付属している取扱説明書をお読みください。)
→ テレビ画面に本機のスタート画面が表示されます。

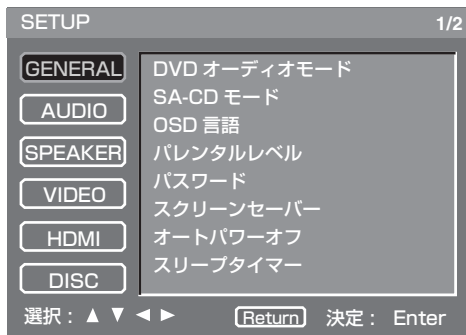
ステップ3：映像方式を設定する

本機は NTSC と PAL の映像方式に対応しています。テレビの映像方式を確認のうえ、正しい映像方式を選択してください。

ご注意

- 本機の設定を変更する前に、テレビが対応している映像方式を必ずご確認ください。
- 再生するディスクの映像方式 (PAL、NTSC) が本機の設定と異なる場合、映像が正しく表示されないことがあります。

- 1 **SETUP** キーを押す。
→ テレビ画面に **SETUP** メニューが表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キーを押して「[VIDEO]」を選択し、**ENTER** キーを押す。
→ VIDEO メニューが表示されます。



- 3 ▲ / ▼ キーを押して、「TV タイプ」を選択する。



- 4 ◀ / ▶ キーを押して、映像方式を選択する。

PAL

テレビの映像方式が PAL の場合に選択します。

NTSC

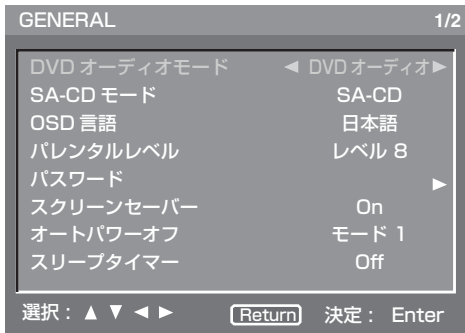
テレビの映像方式が NTSC の場合に選択します。
(通常、日本では NTSC 方式が採用されています。)

ステップ4：言語を設定する

ディスク再生時に使用する言語（音声、字幕、ディスクメニュー）を設定します。設定した言語がディスクに収録されていない場合、再生するディスクの初期設定にしたがって、自動的に言語が選択されます。オンスクリーンディスプレイ (OSD) で表示される言語については、選択した言語が常に適用されます。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) の言語を設定する

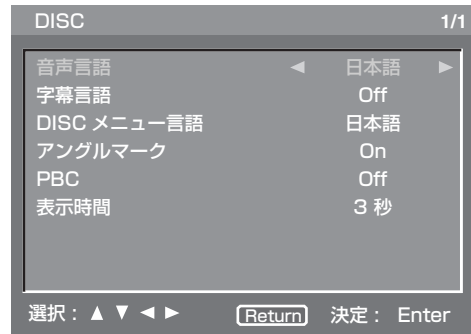
- 1 **SETUP** キーを押す。
→ テレビ画面に **SETUP** メニューが表示されます。
- 2 **▲** / **▼** キーを押して「**GENERAL**」を選択し、**ENTER** キーを押す。
→ **GENERAL** メニューが表示されます。



- 3 **▲** / **▼** キーを押して、「**OSD 言語**」を選択する。
- 4 **◀** / **▶** キーを押して、言語を選択する。

ディスク (音声、字幕、ディスクメニュー) の言語を設定する

- 1 **SETUP** キーを押す。
→ テレビ画面に **SETUP** メニューが表示されません。
- 2 **▲** / **▼** キーを押して「**DISC**」を選択し、**ENTER** キーを押す。
→ **DISC** メニューが表示されます。



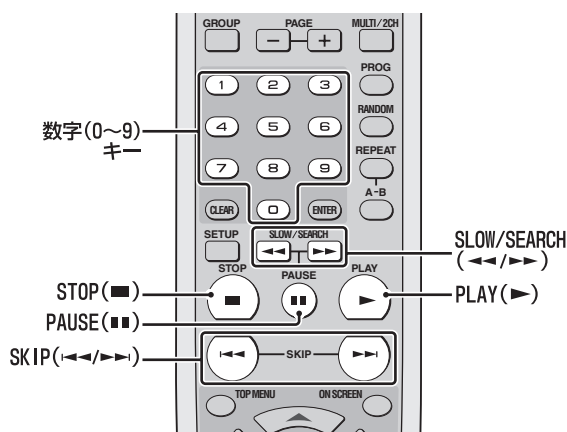
- 3 **▲** / **▼** キーを押して、「**音声言語**」、「**字幕言語**」、「**DISC メニュー言語**」のいずれかを選択する。
 - 4 **◀** / **▶** キーを押して、言語を選択する。
- **選択リストにない言語を選択する**
- 1 上記の手順 4 で「**その他**」を選択し、**ENTER** キーを押す。
 - 2 **数字 (0 ~ 9)** キーを押して、4桁の言語コード (35 ページ) を入力する。
 - 3 **ENTER** キーを押す。

操作する

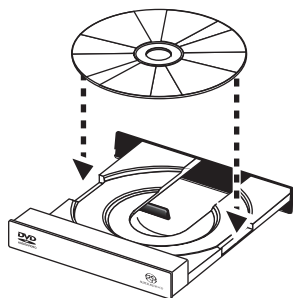
ご注意

- 本書の操作手順では、本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、リモコンでの操作を中心に記載しています。
- キー操作時にアイコン（⊙または「Prohibit」）がテレビ画面に表示された場合、再生中のディスクまたは現在の状態では、該当キーの操作が適用できないことを表しています。
- ディスクにより、操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。
- ディスクトレイを押し下たり、ディスクトレイにディスク以外のものを置いたりしないでください。故障の原因となります。

基本的な再生操作



- 1 本体の \triangle キーを押して、ディスクトレイを開く。
- 2 ディスクのラベル面を上にしてディスクトレイにセットする。



- 3 本体の \triangle キーを押して、ディスクトレイを閉じる。
 - 本機がディスクを認識すると、自動的に再生が開始されます。
 - ディスクトレイが開いている状態で **PLAY (▶)** キーを押すと、ディスクトレイが閉じてから自動的に再生が開始されます。
 - ディスクのフォルダ、ファイル構造により、本機がディスクを認識する時間が異なります (30 秒以上かかる場合もあります)。
- 4 再生を停止するには、**STOP (■)** キーを押す。
- 5 停止した位置から再生を開始するには、**PLAY (▶)** キーを押す。
- 6 再生を停止して、停止位置を消去するには、**STOP (■)** キーを 2 回押す。



本機はディスクの停止位置を自動的に記憶します。記憶されている停止位置は、再生停止中に **STOP (■)** キーを押すか、本機からディスクを取り出すと消去されます。

ご注意

- 一部の MP3、JPEG、DivX ディスクは、ディスクの構成や特性、録音状況などにより、本機では再生できない場合があります。
- ダウンミックスを禁止しているディスクを再生すると、ディスプレイに「NO DOWN MIX」と表示されます。

再生を一時停止する

- 1 再生中に **PAUSE (■)** キーを押す。
- 2 コマ送りするには、**PAUSE (■)** キーを繰り返し押す。
- 3 通常の再生に戻すには、**PLAY (▶)** キーを押す。

チャプター／トラックを選んで再生する

- 1 **SKIP (◀▶)** キーを押すか、**数字 (0~9)** キーを押してチャプター番号またはトラック番号を指定する。
 - 再生中のチャプターまたはトラックを最初から再生するには、**SKIP (◀▶)** キーを 1 回押します。1 つ前のチャプターまたはトラックを再生するには、**SKIP (◀▶)** キーを連続して 2 回押します。
 - チャプター／トラックのリピート再生中に **SKIP (◀▶)** キーを押すと、再生中のチャプターまたはトラックを最初から再生します。
- 2 **ENTER** キーを押す。

早戻し／早送り／スロー再生する

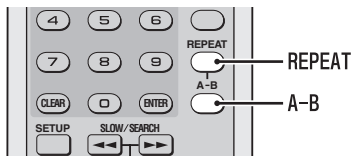
- 1 SLOW/SEARCH (◀◀ / ▶▶) を押す。
 - スロー再生するには、PAUSE (⏸) キーを押して、再生を一時停止してから SLOW/SEARCH (◀◀ / ▶▶) を押します。
- 2 再生速度を変更するには、SLOW/SEARCH (◀◀ / ▶▶) を繰り返し押す。
- 3 通常の再生に戻すには、PLAY (▶) キーを押す。

ご注意

- WMA、DTS-CD、JPEG ファイルは早送り／早戻し／スロー再生できません。
- MP3 ファイルはスロー再生できません。
- VCD、SVCD、DivX ディスクはスロー戻し再生できません。

繰り返し再生する (リピート再生)

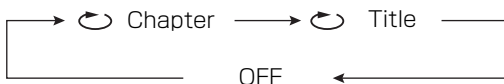
リピート再生を設定すると、チャプター (トラック)、タイトル (グループ)、またはディスク単位で繰り返し再生することができます。また、チャプター (トラック) 内の指定した範囲のみを繰り返し再生することが可能です。



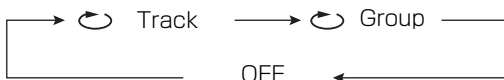
選択中の項目を繰り返し再生する

REPEAT キーを繰り返し押す。
→ REPEAT キーを押すたびに、リピートモードが以下のように切り替わります。

DVD-Video



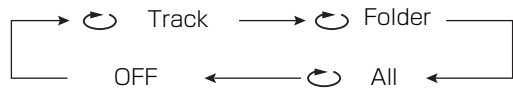
DVD-Audio



CD、SA-CD、VCD、SVCD



MP3、WMA、JPEG、DivX



- ◻ Chapter: 現在のチャプターを繰り返し再生する。
- ◻ Title: 現在のタイトルを繰り返し再生する。
- ◻ Track: 現在のトラックを繰り返し再生する。
- ◻ Group: 現在のグループを繰り返し再生する。
- ◻ Folder: 現在のフォルダを繰り返し再生する。
- ◻ All*: ディスク全体を繰り返し再生する。
- OFF: リピート再生をオフにする。

*: この機能はディスクにより使用できない場合があります。

ご注意

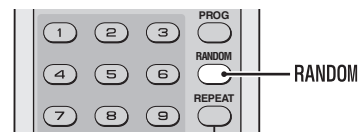
VCD または SVCD でプレイバックコントロール機能を使用している際は、リピート再生は機能しません。

指定した範囲を繰り返し再生する (DVD-Audio / MP3 / WMA / JPEG を除く)

- 1 再生中に A-B キーを押して、範囲の開始位置を指定する。
- 2 再度 A-B キーを押して、範囲の終了位置を指定する。
→ 指定した範囲が繰り返し再生されます。
- 3 リピート再生をオフにするには、A-B キーを押す。

ランダムに再生する (DVD / DivX / SA-CD を除く)

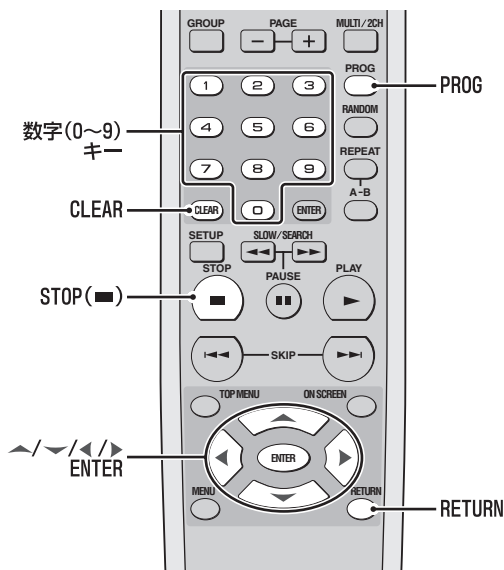
ディスク内のトラックをランダム (順不同) に再生します。



- 1 再生中に RANDOM キーを押す。
→ ディスプレイに「RANDOM」と表示され、トラックがランダムに再生されます。
- 2 通常の再生に戻すには、RANDOM キーを押す。

お好みの順序で再生する (CD)

ディスク内のトラックをお好みの順序で再生します。最大 20 曲の再生順を指定することが可能です。



- 1 STOP (■) キーを押して、再生を停止する。
- 2 PROG キーを押す。
→ テレビ画面に PROGRAM メニューが表示されます。
- 3 数字 (0 ~ 9) キーを押して、お好みのトラック番号 (プログラムリストに登録したいトラック番号) を入力する。
- 4 ◀ キーを押して、次の入力欄へ移動する。
- 5 お好みのトラックをすべて登録するまで、手順 3、4 を繰り返す。
- 6 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して「Play Program」を選択し、ENTER キーを押す。
→ 再生が開始されます。

■ プログラムリストから、選択したトラック番号を消去する

CLEAR キーを押す。

■ プログラムリストを消去する

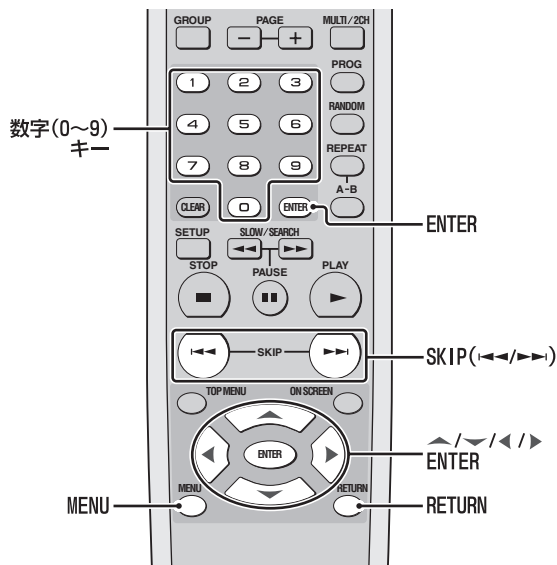
▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して「Clear All」を選択し、ENTER キーを押す。

ご注意

ディスクをディスクトレイから取り出したり、電源をオフにすると、プログラム設定した内容が消去されます。

ディスクメニューを操作する (DVD / VCD / SVCD)

多くの DVD や VCD (SVCD) は、ディスク独自のメニュー (DVD メニュー、プレイバックコントロールメニュー) を備えています。これらのメニューでは、ディスクに備わっているさまざまな機能进行操作できます。



DVD メニューを操作する

- 1 MENU キーを押す。
→ テレビ画面に DVD メニューが表示されます。
 - ディスクにより、本機にセットすると DVD メニューが自動的に表示される場合があります。
- 2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーまたは数字 (0 ~ 9) キーを押して、再生機能や項目を選択する。
- 3 ENTER キーを押して、選択した機能や項目を確定 (再生) する。

■ メニューを終了する

MENU キーを押す。

プレイバックコントロールメニューを操作する (VCD / SVCD)

- MENU キーを押して、プレイバックコントロール機能をオンにする。
→ テレビ画面にプレイバックコントロールメニューが表示されます。
 - ディスクにより、本機にセットするとプレイバックコントロールメニューが自動的に表示される場合があります。
- SKIP (◀◀ / ▶▶) キーまたは数字 (0 ~ 9) キーを押して、再生機能や項目を確定 (再生) する。
- 再生中にメニューを表示するには、RETURN キーを押す。

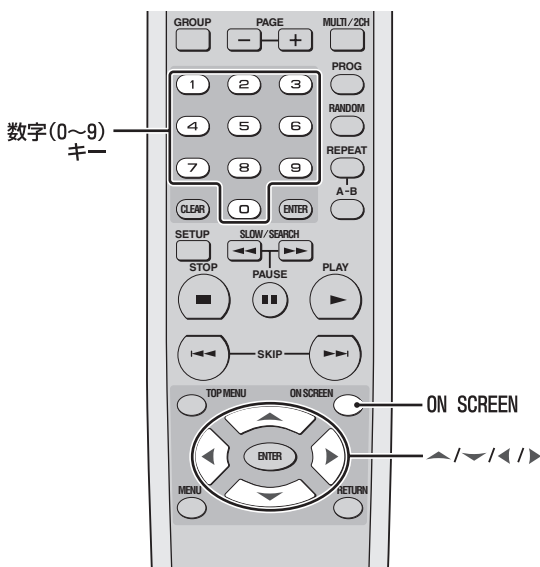
■ プレイバックコントロールメニューを終了する (ディスクを最初から再生する)

メニュー表示中に MENU キーを押す。

☀
SETUP メニュー (34 ページ) でもプレイバックコントロールメニューの表示 / 非表示を選択することができます。

OSD メニューを操作する (DVD / VCD / SVCD / SA-CD)

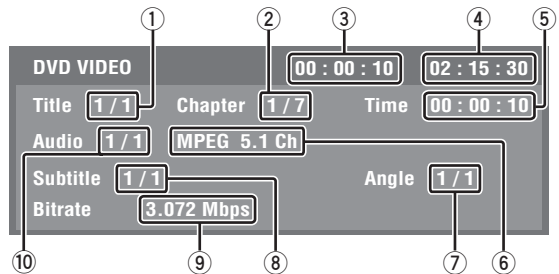
OSD メニューでは、再生中のディスクに関するさまざまな情報 (タイトル番号、チャプター番号など) を表示できます。また、再生に関する設定を変更することも可能です。



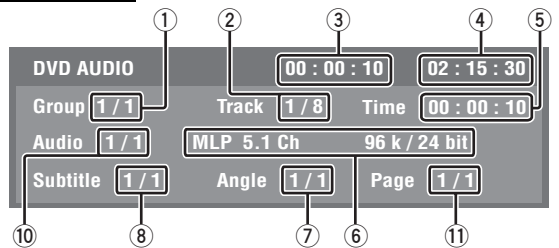
OSD メニューで再生設定を変更する (DVD / VCD / SVCD / CD)

再生中に ON SCREEN キーを押す。
→ テレビ画面にディスクの情報が表示されます。

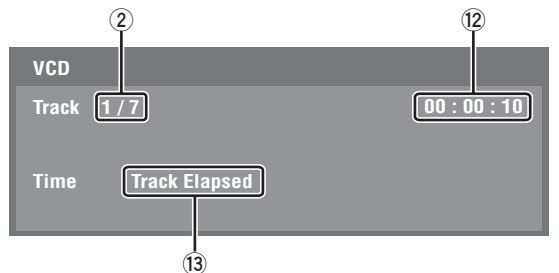
DVD-Video



DVD-Audio



VCD / SVCD / CD



- 再生中のタイトル番号、グループ番号 / ディスクの総タイトル数、総グループ数
- 再生中のチャプター番号、トラック番号 / ディスクの総チャプター数、総トラック数
- 経過時間
- 残り時間
- 経過時間 (数字を入力すると、時間を指定できます。)
- 音声フォーマット
- 再生中のアングル番号 / ディスクの総アングル数
- 再生中の字幕言語番号 / ディスクの総字幕言語数
- データ伝送速度
- 再生中の音声言語番号 / ディスクの総音声言語数
- 再生中のページ番号 / ディスクの総ページ数
- 時間 (表示時間の種類を選択できます。)
- 表示時間の種類 (12 の設定により変わります。)

■ タイトル (DVD-Video) / グループ (DVD-Audio) を選択する

- 1 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して ① の位置を選択する。
- 2 数字 (0 ~ 9) キーを押してタイトル番号またはグループ番号を入力し、ENTER キーを押す。

■ チャプター (DVD-Video) / トラック (VCD / SVCD / DVD-Audio) を選択する

- 1 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して ② の位置を選択する。
- 2 数字 (0 ~ 9) キーを押してチャプター番号またはトラック番号を入力し、ENTER キーを押す。

■ 時間を指定して再生する

- 1 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して ⑤ の位置を選択する。
- 2 数字 (0 ~ 9) キーを押して経過時間 (左から右に時、分、秒) を入力し、ENTER キーを押す。

ご注意

グループまたはトラックの録音時間を超える経過時間を入力した場合、禁止アイコン (⊙) が表示されます。

■ アンクル、字幕言語、音声言語を選択する

- 1 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して ⑦、⑧、または ⑩ の位置を選択する。
- 2 数字 (0 ~ 9) キーを押してアンクル番号、字幕言語番号、または音声言語番号を入力し、ENTER キーを押す。

ご注意

これらの機能を使用するには、ディスクが各機能に対応している必要があります。

■ ページを選択する (DVD-Audio)

- 1 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して ⑪ の位置を選択する。
- 2 数字 (0 ~ 9) キーを押してページ番号を入力し、ENTER キーを押す。

■ 表示時間の種類を選択する (VCD / SVCD / CD)

▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して ⑫ の位置を選択し、ENTER キーを繰り返し押して表示時間の種類を選択する。

■ OSD メニューを終了する

OSD メニュー表示中に ON SCREEN キーを押す。

テキスト情報を表示する (SA-CD)

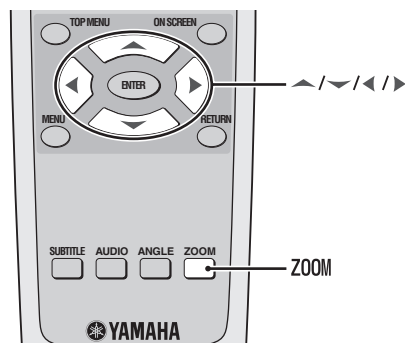
SA-CD には、テキスト情報 (トラック名、アルバム名、アーティスト名など) が収録されているものがあります。テキスト情報に対応しているディスクを本機にセットすると、テレビ画面にトラック名が自動的に表示されます。

■ アルバム / アーティスト名を表示する

再生中に ON SCREEN キーを押す。

映像を拡大する (DVD-Video / VCD / DivX / JPEG)

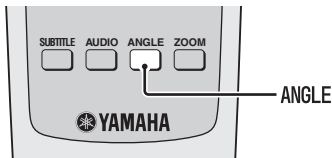
映像を拡大して表示することができます。また、拡大後に表示範囲を調節することも可能です。



- 1 再生中に ZOOM キーを押して、拡大倍率を選択する。
- 2 表示範囲を調節するには、▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押す。
- 3 通常の表示に戻すには、ZOOM キーを繰り返し押して「OFF」を選択する。

アングルを選択する (DVD-Video)

マルチアングル対応ディスクの再生時に、映像のアングル（表示角度）を切り替えます。



ご注意

選択できるアングル（表示角度）はディスクにより異なります。詳しくは各ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明をご参照ください。

ANGLE キーを繰り返し押し続けて、お好みのアングルを選択する。

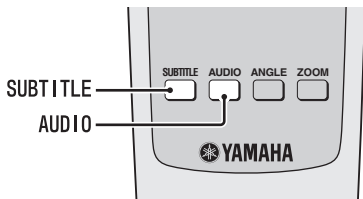
音声 / 字幕言語を選択する (DVD-Video / VCD)

マルチ言語対応ディスクの再生時に、音声言語 / フォーマットまたは字幕言語を切り替えます。

ご注意

選択できる言語はディスクにより異なります。詳しくは各ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明をご参照ください。

☀
音声言語または字幕言語を選択しない場合、SETUP メニューで設定した言語が自動的に選択されます。詳しくは「ディスク（音声、字幕、ディスクメニュー）の言語を設定する」（15 ページ）をご参照ください。



音声言語を選択する

AUDIO キーを繰り返し押し続けて、言語 / フォーマットを選択する。

ご注意

VCD 再生中は、「アナログ出力」（28 ページ）の設定が「ステレオ」のときにのみ音声言語 / フォーマットを切り替えることができます。

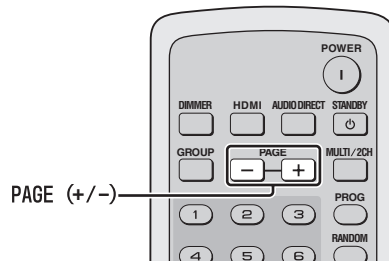
字幕言語を選択する (DVD-Video)

SUBTITLE キーを繰り返し押し続けて、言語を選択する。

ページを切り替える (DVD-Audio)

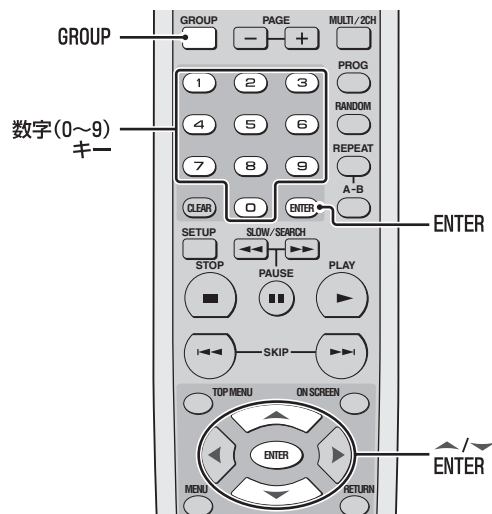
DVD-Audio には、スライドショーやページ機能を備えているものがあります。これらの機能を使用すると、写真集、バイオグラフィー、歌詞などのさまざまな情報を閲覧することができます。

PAGE (+/-) キーを押して、ページを切り替える。



グループ / ファイルを選択する (DVD-Audio / DivX / MP3 / WMA / コダック)

DVD-Audio のトラックや、データディスクのフォルダ内にあるファイルを選択します。



グループを選択する (DVD-Audio)

- 1 GROUP キーを押す。
→ テレビ画面にグループ選択画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キーまたは数字 (0 ~ 9) キーを押して、グループ番号を入力する。
- 3 ENTER キーを押す。

ファイルを選択する (DivX / MP3 / WMA / コダック)

- 1 ▲ / ▼ キーを押してフォルダを選択し、ENTER キーを押してフォルダ内のファイルを表示する。
 - 2 ▲ / ▼ キーを押してファイルを選択し、ENTER キーを押す。
→ 選択したファイルの再生が開始されます。(最後のフォルダまで再生します。)
- 数字 (0 ~ 9) キーを押してファイルを選択すると、選択したファイルの再生が自動的に開始されます。(最後のフォルダまで再生します。)

- 1 GROUP キーを押す。
→ テレビ画面にグループ選択画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キーまたは数字 (0 ~ 9) キーを押してボーナスグループの番号を入力し、ENTER キーを押す。
- 3 数字 (0 ~ 9) キーを押して4桁のパスワードを入力し、ENTER キーを押す。
- 4 ▲ / ▼ キーを押してファイルを選択し、ENTER キーを押す。

再生エリアを切り替える (SA-CD)

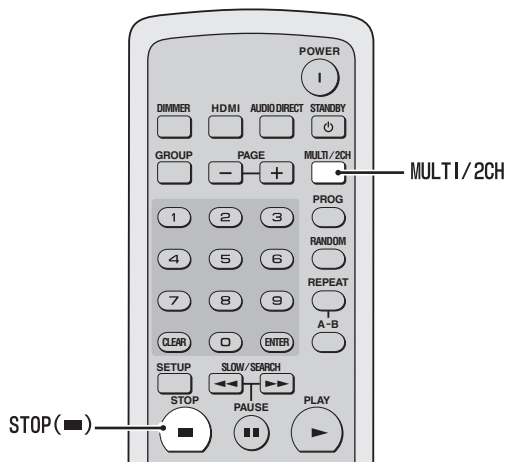
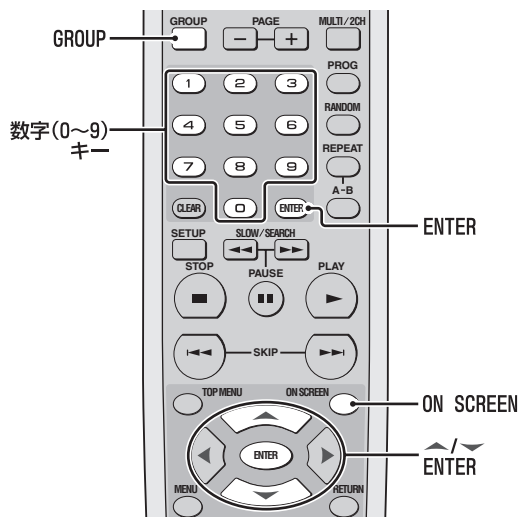
SA-CDには、一層式、二層式、およびハイブリッドの3種類があります。各ディスクには2つのエリア(2チャンネルエリア、マルチチャンネルエリア)があり、お好みのエリアに切り替えて、音声を楽しむことができます。

ご注意

SA-CD再生中にSETUPメニューの「アナログ出力」(28ページ)の設定を変更することはできません。

ボーナスグループを再生する (DVD-Audio)

DVD-Audioには、ボーナスグループを収録しているものがあります。ボーナスグループを再生するには、4桁のパスワードを入力する必要があります。詳しくは各ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明をご参照ください。



- 1 STOP (■) キーを押して、再生を停止する。
- 2 MULTI/2CH キーを押す。
→ マルチチャンネルエリアを選択した場合、MULTIインジケータが点灯します。

MP3 / WMA / DivX / JPEG ファイルを再生する

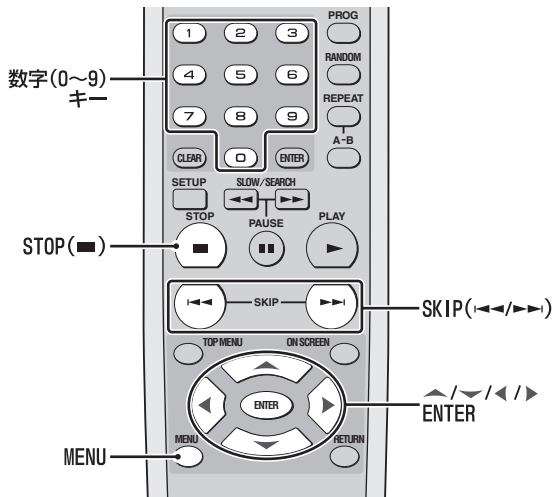
市販の JPEG 画像ディスクおよび CD-R や CD-RW ディスクに保存した MP3、WMA、DivX および JPEG 画像などを本機で再生することができます。

ご注意

ディスクの構成や特性、記録状態などにより、本機では正しく再生できない場合があります。



スライドショーの画像表示時間を指定することができます。詳しくは「スライドショーの画像表示時間を設定する」(34 ページ) をご参照ください。



- 1 本機にディスクをセットする。
 - 自動的に再生が開始されます。
 - MP3 または WMA ディスクの場合、テレビ画面にデータディスクメニューが表示されます。
 - DivX または JPEG ディスクの場合、再生中に **STOP (■)** キーを押すと、データディスクメニューが表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キーを押してフォルダを選択し、**ENTER** キーを押してフォルダ内のファイルを表示する。
 - 1つ上の階層にあるフォルダへ移動するには、再生停止中に「**Ⓜ**」フォルダを選択します。
- 3 ▲ / ▼ キーを押してファイルを選択し、**ENTER** キーを押す。
 - 選択したファイルの再生が開始されます。(最後のフォルダまで再生します。)
 - **数字 (0 ~ 9)** キーを押してファイルを選択すると、選択したファイルの再生が自動的に開始されます。(最後のフォルダまで再生します。)

サムネイル (縮小画像) を表示する (JPEG)

- 1 再生中に **MENU** キーを押す。
 - テレビ画面にサムネイルが表示されます。



- 2 リストを切り替えるには、**SKIP (◀▶)** を押す。
- 3 リストの画像を通常サイズで表示するには、▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して画像を選択し、**ENTER** キーを押す。
- 4 データディスクメニューに戻るには、**STOP (■)** キーを押す。

画像を回転させて表示する (JPEG)

画像の表示中に ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押す。

◀: 左 (反時計回り) に 90 度回転します。

▶: 右 (時計回り) に 90 度回転します。

▲、▼: 180 度回転します。

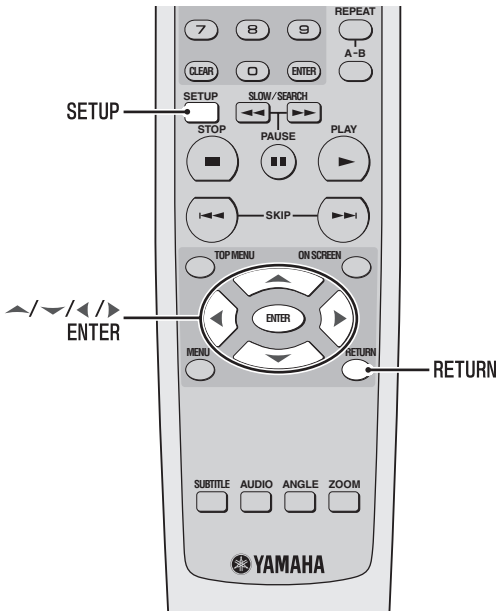
各種設定を変更する (SETUP メニュー)

メニュー一覧表

メインメニュー	メニューアイテム	設定 / サブメニュー	設定 / パラメーター
GENERAL	DVD オーディオモード	DVD オーディオ, DVD ビデオモード	
	SA-CD モード	SA-CD, CD	
	OSD 言語	日本語, English	
	パレンタルレベル	---- (パスワードを入力)	レベル 1 ~ レベル 8
	パスワード	---- (パスワードを入力)	新パスワード, 確認用パスワード
	スクリーンセーバー	On, Off	
	オートパワーオフ	モード 1, モード 2, Off	
	スリープタイマー	Off, 30 分, 60 分, 90 分, 120 分, 150 分	
	工場出荷設定	---- (パスワードを入力)	Yes, No
	DivX Registration	(DivX 登録コードの表示)	Enter
AUDIO	アナログ出力	ステレオ, マルチチャンネル	
	デジタル出力	All, PCM, Off	
	LPCM 出力	48KHz, 96KHz	
	ナイトリスニングモード	On, Off	
SPEAKER	サイズ	フロント L/R	大, 小
		センター, サラウンド L/R	大, 小, Off
		サブウーファー, 初期化	On, Off
	距離	単位	フィート, メートル
		フロント L/R, センター, サラウンド L/R	1ft ~ 40ft (0.3m ~ 12.0m)
		初期化	On, Off
	レベル	フロント L, センター, フロント R, サラウンド L, サラウンド R, サブウーファー	0dB ~ -12dB
		テストトーン	Off, マニュアル, オート
		初期化	On, Off
	SA-CD Config	Config 1, Config 2, Config 3	
カットオフ周波数	60, 80, 100, 120		
VIDEO	TV ディスプレイ	16:9, 4:3 パンスキャン, 4:3 レターボックス	
	TV タイプ	NTSC, PAL	
	スチルモード	フレーム, フィールド	
	プログレッシブ	On, Off	
	画質設定	明るさ	0 ~ +6
		コントラスト, 色相, シャープネス中域, シャープネス高域	-6 ~ +6
		DNR	0 ~ +6
		ガンマ, クロマレベル	-6 ~ +6
クロマディレイ		-2 ~ +2	
True Life	0 ~ +6		
HDMI	HDMI ビデオ	480P/576P, 720P, 1080i, 1080P, オート	
	ワイドスクリーンフォーマット	ストレッチ, シュリンク, Off	
	DVI 出力レンジ	スタンダード, エンハンスド	
	HDMI オーディオ	オート, PCM, Off	
DISC	音声言語	Off (「字幕言語」設定時のみ), English, French, Spanish, 日本語, German, Italian, Russian その他	
	字幕言語		
	DISC メニュー言語		
	アングルマーク	On, Off	
	PBC	On, Off	
	表示時間	2 秒 ~ 10 秒	

基本的なメニュー操作

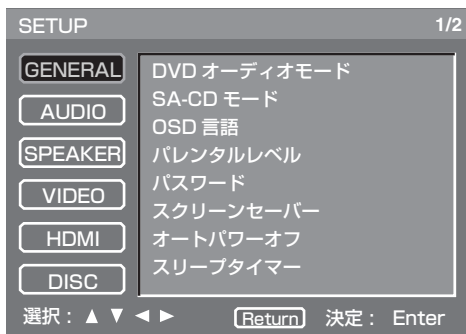
SETUP メニューでは、テレビ画面を見ながら本機
の各種設定を変更することができます。SETUP メ
ニューの操作については、下記の手順をお読みくだ
さい。



- ☀ 前のメニューに戻るには、**RETURN** キーを押してください。
- SETUP メニューを終了するには、**SETUP** キーを押してください。
- 各メニューの内容について詳しくは、次ページ以降の説明をご参照ください。

1 SETUP キーを押す。

- テレビ画面に SETUP メニューのトップメニューが表示されます。



- ### 2 ▲ / ▼ キーを押してメインメニューを選択し、ENTER キーを押す。

- 選択したメインメニュー内のメニューが表示されます。



- ### 3 ▲ / ▼ キーを押して、設定を変更するメニューを選択する。

- 選択したメニューの下にサブメニューがない場合、設定項目の左右にカーソルが表示されます。



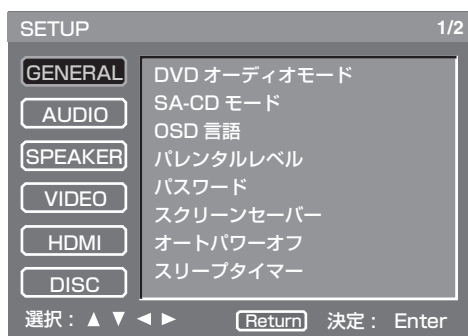
- 選択したメニュー項目の下にサブメニューがある場合、右カーソルのみが表示されます。



この場合は、▶ キーを押してサブメニューを表示し、▲ / ▼ キーを押して設定を変更するサブメニューを選択します。

- ### 4 ◀ / ▶ キーを押して、新しい設定を選択する (パラメーターを調節する)。

一般設定 (GENERAL メニュー)



DVD オーディオモードを設定する

DVD-Audio ディスクには、DVD-Video 形式のソースが含まれているものがあります。これらのディスクを再生する際に、どのソースを再生するか選択することができます。

- ・ 「GENERAL」 → 「DVD オーディオモード」を選択する。

DVD オーディオ

DVD-Audio と DVD-Video の両方を再生します。ディスクによっては、DVD-Audio のみ再生します。

DVD ビデオモード

DVD-Video のみ再生します。

ご注意

- ・ ディスクがディスクトレイにセットされていないときのみ、モードを変更できます。
- ・ 選択したモードは、セットアップメニューを閉じたあとに有効になります。



- ・ DVD-Audio ディスクを再生中は、DVD AUDIO インジケータが点灯します。
- ・ 「DVD ビデオモード」に設定している場合、DVD-Audio ディスクを再生しても DVD AUDIO インジケータは点灯しません。

SA-CD モードを設定する

SA-CD ディスクには、SA-CD レイヤー以外に一般的な CD レイヤーが含まれているものがあります。これらのディスクを再生する際に、どのレイヤーを再生するか選択することができます。

- ・ 「GENERAL」 → 「SA-CD モード」を選択する。

SA-CD

SA-CD レイヤーを再生します。

CD

CD レイヤーを再生します。

ご注意

- ・ ディスクがディスクトレイにセットされていないときのみ、モードを変更できます。
- ・ 選択したモードは、セットアップメニューを閉じたあとに有効になります。

OSD 言語を設定する

オンスクリーンディスプレイ (OSD) で表示される言語を設定します。詳しくは、「オンスクリーンディスプレイ (OSD) の言語を設定する」(15 ページ) をご参照ください。

視聴制限レベルを設定する (パレンタルコントロール)

視聴制限レベルを設定すると、それより高い視聴制限レベル (1 ~ 8) に指定されている DVD を本機で再生することができなくなります。これにより、お子様に見せたくないディスクなどを指定することが可能です。各ディスクの視聴制限レベルについては、ジャケットなどの説明をご参照ください。

- 1 「GENERAL」 → 「パレンタルレベル」を選択する。
- 2 数字 (0 ~ 9) キーを押して、4桁のパスワードを入力する。(パスワードについては、下記の「パスワードを設定する」をご参照ください。)
- 3 ◀ / ▶ キーを押して、視聴制限レベルを選択する。
 - ・ すべてのディスクを視聴可能にするには、「レベル 8」を選択します。

ご注意

- ・ VCD、SVCD、CD、および SACD の再生を制限することはできません。
- ・ 一部の DVD では、シーンごとに視聴制限レベルが設定されています。これらのディスクには、本機の視聴制限は機能しません。

パスワードを設定する

視聴制限などで使用するパスワードを設定します。パスワード入力画面が表示された際に、設定した4桁のパスワードを入力してください。初期状態では「2580」に設定されています。

- 1 「GENERAL」 → 「パスワード」を選択する。
- 2 数字 (0 ~ 9) キーを押して、現在設定している4桁のパスワードを入力する。
 - ・ 初めて設定するとき、またはパスワードを忘れてしまったときは「2580」を入力します。
 - 正しいパスワードを入力すると、サブメニューが表示されます。

- 3 数字 (0 ~ 9) キーを押して、新しい 4 桁のパスワードを入力する。
→ 「確認用パスワード」が反転表示されます。
- 4 手順3で入力したパスワードを再度入力する。
→ パスワードが変更され、メニュー画面に戻ります。

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバー機能をオン/オフに設定します。

- ・ 「GENERAL」 → 「スクリーンセーバー」を選択する。

On

再生停止の状態が 15 分間続くと、スクリーンセーバーを起動します。

Off

スクリーンセーバー機能をオフにします。

オートスタンバイを設定する

オートスタンバイ機能をオン/オフに設定します。

- ・ 「GENERAL」 → 「オートパワーオフ」を選択する。

モード 1

再生停止の状態が 30 分間続くと、再生状態（操作なし）が 6 時間続くと、本機の電源モードを自動的にスタンバイに切り替えます。

モード 2

再生停止の状態が 30 分間続くと、本機の電源モードを自動的にスタンバイに切り替えます。

Off

オートスタンバイ機能をオフにします。

スリープタイマーを設定する

スリープタイマー機能を設定すると、経過時間を指定して本機の電源モードを自動的にスタンバイに切り替えることができます。

- ・ 「GENERAL」 → 「スリープタイマー」を選択する。

30分、60分、90分、120分、150分

指定した時間が経過した後、本機の電源モードを自動的にスタンバイに切り替えます。

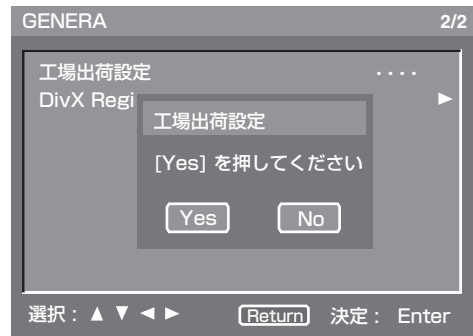
Off

スリープタイマー機能をオフにします。

設定を初期化する

「パレンタルレベル」および「パスワード」以外の本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

- 1 「GENERAL」 → 「工場出荷設定」を選択する。
- 2 数字 (0 ~ 9) キーを押して、4 桁のパスワード (26 ページ) を入力する。
→ 確認画面が表示されます。



- 3 ◀ / ▶ キーを押して「Yes」を選択し、ENTER キーを押す。
→ すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

DivX® VOD 登録コードを表示する

ヤマハより配布される DivX® VOD (Video On Demand) 登録コードを表示します。登録コードは、ビデオの購入やレンタルなど DivX® VOD サービスをご利用の際に使用します。詳しくは、DivX 社の Web ページ (www.divx.com/vod) にアクセスしてください。

- 1 「GENERAL」 → 「DivX Registration」を選択する。
- 2 ▶ キーを押す。
→ 登録コードが表示されます。
- 3 メニュー画面に戻るには、ENTER キーを押す。



DivX ディスクを本機で再生するには、PC で CD-R にダウンロードします。

ご注意

- ・ DivX® VOD サービスを利用してダウンロードしたビデオは、本機でのみ再生できます。
- ・ DivX ディスクでは、時間を指定して再生することはできません。

音声設定 (AUDIO メニュー)



アナログ出力を設定する

本機のアナログ出力端子の音声出力方法を設定します。本機に接続するアンプに応じて設定を変更してください。

- ・ 「AUDIO」 → 「アナログ出力」 を選択する。

ステレオ

ステレオアンプ (2 チャンネルアンプ) を本機に接続する場合に選択します。アンプに接続した 2 つのフロントスピーカーから音声が出力されます。

マルチチャンネル

マルチチャンネル対応のアンプを本機に接続する場合に選択します。アンプの機能に応じて、ドルビーデジタル、DTS などのマルチチャンネルソースが出力されます。

デジタル出力を設定する

本機のデジタル出力端子の音声出力方法を設定します。本機に接続するアンプに応じて設定を変更してください。

- ・ 「AUDIO」 → 「デジタル出力」 を選択する。

All

マルチチャンネル対応のアンプを本機に接続する場合に選択します。

PCM

マルチチャンネルに非対応のアンプを本機に接続する場合に選択します。

Off

デジタル出力をオフにします。

LPCM 出力を設定する

PCM 対応アンプを本機のデジタル出力端子 (光デジタル、同軸デジタルなど) に接続する場合に、LPCM 信号の出力方法を設定します。サンプリング周波数が高いほど、音質が向上します。

- ・ 「AUDIO」 → 「LPCM 出力」 を選択する。

48KHz

サンプリング周波数が 48kHz で録音されたディスクを再生する場合に選択します。96kHz の PCM データは 48kHz のサンプリング周波数に変換されます。

96KHz

サンプリング周波数が 96kHz で録音されたディスクを再生する場合に選択します。ディスクにコピーガード機能が適用されている場合は、自動的に 48kHz のサンプリング周波数に変換して出力します。

ナイトリスニングモードを設定する

ナイトリスニングモードを使用すると、ドルビーデジタルのマルチチャンネルソースを楽しむ際には、大きな効果音を抑えて会話やヴォーカル音声などをはっきりと聞こえるように再生することができます。夜間など小さな音量で再生する際に便利です。

- ・ 「AUDIO」 → 「ナイトリスニングモード」 を選択する。

On

ナイトリスニングモードをオンにします。

Off

ナイトリスニングモードをオフにします。

スピーカー設定 (SPEAKER メニュー)



スピーカーのサイズを設定する

各スピーカーのサイズを設定します。

- ・ 「SPEAKER」 → 「サイズ」 を選択する。

フロント L/R

フロント L / R スピーカーのサイズを設定します。

大

大きいスピーカーを接続する場合に選択します。

小

小さいスピーカーを接続する場合に選択します。

センター、サラウンド L/R

センタースピーカー、サラウンド L / R スピーカーのサイズを設定します。

大

大きいスピーカーを接続する場合に選択します。

小

小さいスピーカーを接続する場合に選択します。

Off

該当スピーカーを接続しない場合に設定します。

サブウーファー

サブウーファーの有無を設定します。

On

サブウーファーを接続する場合に選択します。

Off

サブウーファーを接続しない場合に選択します。

ご注意

- ・ これらの設定は SA-CD の再生には適用されません。SA-CD のスピーカー出力については、「SA-CD のスピーカー出力を設定する」(30 ページ) をご参照ください。
- ・ 「センター」、「サラウンド L/R」、「サブウーファー」の設定は、「アナログ出力」(28 ページ) の設定が「ステレオ」のときには適用されません。

初期化

各スピーカーの「サイズ」の設定を工場出荷時の状態に戻します。

- 1 「SPEAKER」 → 「サイズ」 → 「初期化」を選択する。
- 2 ▶ キーを押す。
→ 確認画面が表示されます。
- 3 ◀ / ▶ キーを押して「Yes」を選択し、ENTER キーを押す。
→ 各スピーカーの「サイズ」の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

スピーカーの距離を設定する

各スピーカーと視聴位置の距離を設定します。

- ・ 「SPEAKER」 → 「距離」 を選択する。

単位

距離の表示単位を設定します。

フィート

スピーカーの距離をフィートで表示します。

メートル

スピーカーの距離をメートルで表示します。

フロント L/R

フロント L / R スピーカーと視聴位置の距離を設定します。なるべく各スピーカー (L / R) と視聴位置の距離が等しくなるように設置してください。

可変範囲: 0.3m ~ 12.0m (1ft ~ 40ft)

可変値: 0.3m (1ft)

センター

センタースピーカーと視聴位置の距離を設定します。

可変範囲: 0.3m ~ 12.0m (1ft ~ 40ft)

可変値: 0.3m (1ft)

ご注意

「センター」の可変範囲は、「フロント L/R」の設定により変化します。「フロント L/R」の設定値と同じ値を最長として、それより 1.5m (5ft) 短い値までが可変範囲となります。

サラウンド L/R

サラウンド L / R スピーカーと視聴位置の距離を設定します。なるべく各スピーカー (L / R) と視聴位置の距離が等しくなるように設置してください。

可変範囲: 0.3m ~ 12.0m (1ft ~ 40ft)

可変値: 0.3m (1ft)

ご注意

「サラウンド L/R」の可変範囲は、「フロント L/R」の設定により変化します。「フロント L/R」の設定値と同じ値を最長として、それより 4.5m (15ft) 短い値までが可変範囲となります。

初期化

各スピーカーの「距離」の設定を工場出荷時の状態に戻します。

- 1 「SPEAKER」 → 「距離」 → 「初期化」を選択する。
- 2 ▶ キーを押す。
→ 確認画面が表示されます。
- 3 ◀ / ▶ キーを押して「Yes」を選択し、ENTER キーを押す。
→ 各スピーカーの「距離」の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

スピーカーの出力レベルを設定する

各スピーカーの出力レベルを設定します。

- ・ 「SPEAKER」 → 「レベル」 を選択する。

フロントL、センター、フロントR、サラウンドL、サラウンドR、サブウーファー

フロントL/Rスピーカー、センタースピーカー、サラウンドL/Rスピーカー、サブウーファーの出力レベルを設定します。

可変範囲：0dB ～ 12dB

可変値：1dB

テストトーン

各スピーカーの出力レベルを設定する際に、テストトーンを出力します。

- 1 「SPEAKER」 → 「レベル」 → 「テストトーン」 を選択する。
- 2 ◀ / ▶ キーを押して「Off」、 「マニュアル」、 「オート」 のいずれかを選択する。

Off

テストトーンを出力しません

マニュアル

手動でテストトーンを出力します。

オート

自動的に各スピーカーからテストトーンを出力します。

- 3 手順2で「オート」を選択した場合、**ENTER** キーを押してテストトーンを出力する。「マニュアル」を選択した場合、**▲ / ▼** キーを押してスピーカーを選択し、**ENTER** キーを押してテストトーンを出力する。

ご注意

CDがディスクトレイにセットされている場合、テストトーンはフロントL/Rスピーカーからのみ出力されません。

初期化

各スピーカーの「レベル」の設定を工場出荷時の状態に戻します。

- 1 「SPEAKER」 → 「レベル」 → 「初期化」 を選択する。
- 2 ▶ キーを押す。
→ 確認画面が表示されます。
- 3 ◀ / ▶ キーを押して「Yes」を選択し、**ENTER** キーを押す。
→ 各スピーカーの「レベル」の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

SA-CDのスピーカー出力を設定する

SA-CDを再生時のスピーカー出力（サイズ、有無）を設定します。

- ・ 「SPEAKER」 → 「SA-CD Config」 を選択する。

Config 1、Config 2、Config 3

下記の表を参照し、該当するスピーカー環境を選択します。

スピーカー	サイズと有無		
	Config 1	Config 2	Config 3
フロントL/R	大	小	大
センター	大	小	小
サラウンドL/R	大	小	小
サブウーファー	あり	あり	なし

カットオフ周波数を設定する (SA-CD)

低周波信号のカットオフ周波数（クロスオーバー）を設定します。設定した数値よりも低い周波数の信号のみがサブウーファーから出力されます。

- ・ 「SPEAKER」 → 「カットオフ周波数」 を選択する。

60、80、100、120 (Hz)

設定するカットオフ周波数を選択します。

映像設定 (VIDEO メニュー)



映像サイズを設定する

ご使用のテレビに合わせて、本機の映像サイズ（アスペクト比）を設定します。ディスクの設定により、テレビ画面の映像表示が異なります。

- ・「VIDEO」→「TV ディスプレイ」を選択する。

4:3 パンスキャン

テレビのアスペクト比が 4:3 の場合に選択します。映像の左右がカットされて表示されます。

4:3 レターボックス

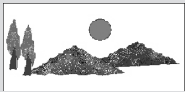
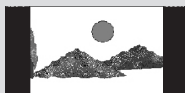
テレビのアスペクト比が 4:3 の場合に選択します。ワイドの映像を再生すると、画面の上下に帯が入った状態で表示されます。

16:9

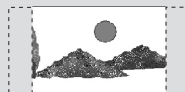
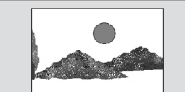


ワイド画面のテレビを使用する場合に選択します。

■ 本機の設定とテレビ画面の映像表示

ワイド画面（16:9）のテレビを使用する場合：

設定	再生ディスク	TV ディスプレイ	
16:9	16:9		
	4:3		*1

アスペクト比が 4:3 のテレビを使用する場合：

設定	再生ディスク	TV ディスプレイ	
4:3 パンスキャン	16:9		*2
	4:3		
4:3 レターボックス	16:9		
	4:3		

*1: 映像が横に引き伸ばされて表示される場合があります。この場合、テレビの映像サイズとアスペクト比の設定をご確認ください。

*2: ディスクがパンスキャンに対応していない場合、レターボックスで表示されます。

映像方式を設定する

ご使用のテレビに合わせて、本機の映像方式を設定します。詳しくは、「ステップ3：映像方式を設定する」（14 ページ）をご参照ください。

静止画の画質を設定する

一時停止時やコマ送り再生時の画質を設定します。

- ・「VIDEO」→「スチルモード」を選択する。

フィールド

動きが速いシーンを再生する場合に選択します。

フレーム

「フィールド」に選択すると画像が乱れる場合に選択します。

プログレッシブモードを設定する

D 端子ケーブルを使用して、本機の D1/D2 端子（12 ページ）とプログレッシブ対応テレビを接続している場合に、DCDi 技術により、高品質でちらつきの少ない映像を出力します。

- ・「VIDEO」→「プログレッシブ」を選択する。

On

プログレッシブ機能をオンにします。「On」を選択すると確認画面が表示されます。この場合、「Yes」を選択し、ENTER キーを押すと「On」に設定されます。

Off

プログレッシブ機能をオフにします。

※

プログレッシブモードで再生中は、ディスプレイの P.SCAN インジケーターが点灯します。

プログレッシブ機能に関するご注意

- ・プログレッシブモードを使用して、アスペクトが 4:3 の映像をワイド画面テレビで再生すると、映像がテレビ画面の横いっぱいになります。この場合、テレビのアスペクト比の設定を映像に合わせて変更するか、本機の SETUP メニューで「ワイドスクリーンフォーマット」（33 ページ）の設定を変更してください。
- ・プログレッシブ機能を使用するには、テレビがプログレッシブ機能に対応している必要があります。
- ・プログレッシブ機能を使用するには、本機とテレビが D 端子で接続されている必要があります。

本機のプログレッシブ機能と互換性のないプログレッシブ対応テレビを使用している場合、プログレッシブモードでのディスク再生時に画像が乱れる場合があります。この場合、プログレッシブ機能をオフにして通常出力で再生してください。なお、本機はヤマハの映像機器（プロジェクター：DPX-1300、DPX-830、プラズマモニター：PDM-4220 など）と互換性があります。

映像の画質を設定する

映像を再生する際の画質を設定します。10種類の項目をお好みで設定することができます。

- ・ 「VIDEO」 → 「画質設定」 を選択する。

明るさ

映像の明るさを調節します。

可変範囲：0 ～ +6

コントラスト

映像のコントラスト（白色の強さ）を調節します。

可変範囲：-6 ～ +6

色相

映像の色相（色合い）を調節します。

可変範囲：-6 ～ +6

シャープネス中域

中間周波映像の鮮明度を調節します。

可変範囲：-6 ～ +6

シャープネス高域

高周波映像の鮮明度を調節します。

可変範囲：-6 ～ +6

DNR

映像ノイズの低減率を調節します。

可変範囲：0 ～ +6

ガンマ

ガンマ補正値を調節します。

可変範囲：-6 ～ +6

クロマレベル

色濃度を調節します。

可変範囲：-6 ～ +6

クロマディレイ

色のずれ（にじみ）を補正します。

可変範囲：-2 ～ +2

True Life

映像のコントラスト（白色の強さ）と色強度を高め、よりダイナミックな映像を作り出します。

可変範囲：0 ～ +6

ご注意

- ・ 「色相」の設定は D1/D2 端子（プログレッシブ機能オフ時）の映像出力には適用されません。
- ・ 「シャープネス中域」、「シャープネス高域」、「ガンマ」の設定は、HDMI 端子の映像出力には適用されません。
- ・ 「クロマディレイ」、「True Life」の設定は、HDMI 端子および D1/D2 端子（プログレッシブ機能オン時）の映像出力にのみ適用されます。

HDMI 設定 (HDMI メニュー)



HDMI 映像の解像度を設定する

ご使用のテレビに合わせて、HDMI 端子から出力される映像の解像度を設定します。この設定は、本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続している場合のみ適用されます。

- ・ 「HDMI」 → 「HDMI ビデオ」 を選択する。

480P/576P

480p または 576p（プログレッシブ）の映像を出力します。

720P

720p（プログレッシブ）の映像を出力します。

1080I

1080i（インターレース）の映像を出力します。

1080P

1080p（プログレッシブ）の映像を出力します。

オート

テレビに合わせて、自動的に最適な解像度を選択します。

ご注意

- ・ 480P/576P を選択した場合、「TV タイプ」（14 ページ）の設定が「NTSC」のときは 480P が出力され、「PAL」のときは 576P が出力されます。
- ・ HDMI 端子から出力している場合、D1/D2 端子からは映像信号が出力されません。
- ・ 「オート」以外の設定で、テレビが映像の解像度に対応していない場合、自動的に最適な解像度で出力されます。
- ・ 長さが 5m 以上ある HDMI ケーブルで本機と HDMI 対応機器を接続している場合、「1080P」を選択すると画質が劣化することがあります。

ワイドスクリーンの映像表示を設定する

ワイドスクリーンに表示する映像のアスペクト比を設定します。この設定は、HDMI 端子および D1/D2 端子（プログレッシブ機能オン時）の映像出力にのみ適用されます。

- ・ 「HDMI」 → 「ワイドスクリーンフォーマット」を選択する。

ストレッチ

ワイドでない画面比率（4:3）の画像をストレッチをかけて、ワイドスクリーン（16:9）に表示します。（映像のセンターよりも、両サイドのほうが広がって表示されます。）

シュリンク

ワイドでない画面比率（4:3）の画像をワイドスクリーン（16:9）に表示します。ストレッチはかけません。

Off

アスペクト比を変換せずに表示します。

DVI 出力レンジを設定する

接続した機器に合わせて、DVI 出力レンジを設定します。この設定は、本機と DVI-D 対応機器を HDMI-DVI 変換ケーブルで接続している場合のみ適用されます。

- ・ 「HDMI」 → 「DVI 出力レンジ」を選択する。

スタンダード

「エンハンスド」の映像表示が適切でない場合を選択します。

エンハンスド

映像の白色と黒色の部分をより明確にします。

HDMI 音声出力を設定する

接続した機器に合わせて、HDMI 端子の音声出力方法を設定します。この設定は、本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続している場合のみ適用されます。

- ・ 「HDMI」 → 「HDMI オーディオ」を選択する。

オート

接続した機器に合わせて、自動的に最適な出力方法を選択します。

PCM

HDMI 端子からデコードしたマルチチャンネル信号、または 2 チャンネルのリニア PCM 信号を出力します。

Off

HDMI 端子の音声出力をオフにします。

ご注意

- SA-CD の音声信号は、HDMI 端子からは出力されません。
- 「オート」または「PCM」を選択した場合、DIGITAL (OPTICAL) 端子および DIGITAL (COAXIAL) 端子からは音声信号が出力されません。

ディスク設定 (DISC メニュー)



DVD 再生時の言語を設定する

DVD の再生時に使用する言語 (音声、字幕、ディスクメニュー) を設定します。詳しくは、「ディスク (音声、字幕、ディスクメニュー) の言語を設定する」(15 ページ) をご参照ください。

アングルマーク表示を設定する

マルチアングル対応の場面を再生している際に点灯するアングルマークの表示方法を設定します。

- ・ 「DISC」 → 「アングルマーク」 を選択する。

On

マルチアングルに対応している場面を再生中は、アングルマークを常に表示します。

Off

マルチアングルに対応している場面の再生が始まると、アングルマークを 5 秒間のみ表示します。

プレイバックコントロール機能を設定する

プレイバックコントロール (PBC) 機能をオン/オフに設定します。この機能は、PBC 対応の VCD (バージョン 2.0 以降) 再生時に使用できます。

- ・ 「DISC」 → 「PBC」 を選択する。

On

プレイバックコントロール (PBC) メニューを表示します。

Off

プレイバックコントロール (PBC) メニューを非表示にします。



リモコンの MENU キーでも PBC メニューの表示/非表示を切り替えることができます。詳しくは、「プレイバックコントロールメニューを操作する (VCD / SVCD)」(19 ページ) をご参照ください。

スライドショーの画像表示時間を設定する

JPEG ディスクのスライドショーで、各画像ファイルを表示する時間を設定します。

- ・ 「DISC」 → 「表示時間」 を選択する。

可変範囲: 2 秒 ~ 10 秒

可変値: 1 秒

ご注意

画像ファイルのサイズにより、適切に機能しない場合があります。

言語コード一覧

アイスランド	1929	韓国語	2125	タイ	3018	ブータン	1436
アイマラ	1135	カナダ	2124	タガログ	3022	フェロー	1625
アイルランド	1711	カンボジア	2123	タジク	3017	フランス	1628
アゼルバイジャン	1136	ギリシャ	1522	タタール	3030	フリジア	1635
アッサム	1129	キルギス	2135	タミル	3011	ブルガリア	1217
アフアル	1111	グアラニー	1724	チェコ	1329	ブルターニュ	1228
アブハズ	1112	グジャラト	1731	チベット	1225	ベトナム	3219
アフリカーンス	1116	グリーンランド	2122	中国語	3618	ヘブライ	1933
アムハラ	1123	グルジア	2111	ティグリニア	3019	ペルシャ	1611
アラビア	1128	クルド	2131	テルグ	3015	ベロルシア	1215
アルバニア	2927	クロアチア	1828	デンマーク	1411	ベンガル (ハンガラ)	1224
アルメニア	1835	ゲール (スコットランド)	1714	ドイツ	1415	ポーランド	2622
イタリア	1930	ケチュア	2731	トウイ	3033	ポルトガル	2630
イディッシュ	2019	コーサ	3418	トルクメン	3021	マオリ	2319
インターリングア	1911	コルシカ	1325	トルコ	3028	マケドニア	2321
インドネシア	1924	サモア	2923	トンガ	3025	マラーティー	2328
ウェールズ	1335	サンスクリット	2911	ナウル	2411	マラガシー	2317
ヴォラピュック	3225	ジャワ	2033	日本語	2011	マラヤーラム	2322
ウォロフ	3325	ショナ	2924	ネパール	2415	マルタ	2330
ウクライナ	3121	シンド	2914	ノルウェー	2425	マレー	2329
ウズベク	3136	シンハラ	2919	ハウサ	1811	モルダビア	2325
ウルドゥー	3128	スウェーデン	2932	バシキール	1211	モンゴル	2324
英語	1524	ズール	3631	パシュト	2629	ヨルバ	3525
エストニア	1530	スペイン	1529	バスク	1531	ラオ	2225
エスペラント	1525	スロバキア	2921	ハンガリー	1831	ラテン	2211
オーリヤ	2528	スロベニア	2922	パンジャブ	2611	ラトビア (レット)	2232
オランダ	2422	スワヒリ	2933	ビハール	1218	リトアニア	2230
カザフ	2121	スンダ	2931	ビルマ	2335	リンガラ	2224
カシミール	2129	セルビア	2928	ヒンディー	1819	ルーマニア	2825
カタロニア	6765	セルビア・クロアチア	2918	フィジー	1620	レトロマンズ	2823
ガリチア	1722	ソマリ	2925	フィンランド	1619	ロシア	2831

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

症状	対策	参照ページ
電源が入らない	電源コードを正しく AC コンセントに接続してください。	12
	本体の STANDBY/ON キーを押して、本機の電源を入れてください。	14
映像が表示されない	テレビの映像入力を切り替えてください。詳しくは、ご使用のテレビに付属している取扱説明書をお読みください。	—
	テレビの電源を入れてください。	—
	「プログレッシブ」を「On」に設定している場合、D 端子ケーブルで本機の D1/D2 端子とプログレッシブ対応テレビを接続しているかをご確認ください。これ以外の方法で接続している場合は、以下の手順でプログレッシブ機能をオフにしてください。 1. 本体の \triangle キーを押して、ディスクトレイを開く。 2. リモコンの CLEAR キーを押す。 3. リモコンの数字 (0～9) キーを押して、「2580」を入力する。 4. リモコンの AUDIO キーを押す。	31
	「HDMI ビデオ」を「オート」以外に設定している場合、その設定（解像度）がご使用のテレビに合っているかをご確認ください。合っていない場合、以下の手順で設定を「オート」に変更してください。 1. 本体の \square キーまたはリモコンの STOP (■) キーを 2 回押し、再生を停止する。 2. 本体の \square キーと \triangleright / \square キーを同時に 3 秒間押し続ける。	32
	本体の HDMI インジケータがオレンジ色に点灯している場合、本機に接続している機器が HDCP 対応機器であるかをご確認ください。	12
映像が歪む（白黒になる）	再生中のディスクが本機の対応ディスクであるかをご確認ください。	3
	1. テレビおよびディスクの映像方式が、本機の設定と合っているかをご確認ください。合っていない場合は、以下の手順で「TV タイプ」の設定を初期値に戻してください。 1. 本体の \triangle キーを押して、ディスクトレイを開く。 2. リモコンの CLEAR キーを押す。 3. リモコンの数字 (0～9) キーを押して、「2580」を入力する。 4. リモコンの AUDIO キーを押す。	14
	ビデオ接続（ケーブルの接続）をご確認ください。	11
映像サイズがおかしい（一部しか表示されない）	「TV ディスプレイ」の設定が、ご使用のテレビと合っているかをご確認ください。	31
	テレビの画面サイズとアスペクト比を正しく設定してください。	—
音が出ない（ノイズが出力される）	音量を調節してください。	—
	スピーカーの接続をご確認ください。	—
	「SPEAKER」の「レベル」を調節してください。	30

症状	対策	参照ページ
デジタル音声出力端子から音が出ない	デジタル接続を確認してください。	11
	DTS ソースを再生している場合、ご使用のアンプが DTS デコードに対応していて、「デジタル出力」が「All」に設定されているかをご確認ください。	28
	MPEG-2 ソースを再生している場合、ご使用のアンプが MPEG-2 デコードに対応しているかをご確認ください。対応していない場合は、「デジタル出力」を「PCM」に設定してください。	28
	選択した音声言語のフォーマットがご使用のアンプに対応しているかをご確認ください。	—
HDMI 端子から音が出ない	「HDMI オーディオ」が「オート」または「PCM」に設定されているかをご確認ください。	33
	HDMI-DVI 変換ケーブルを使用して、本機と DVI-D 対応機器を接続している場合、HDMI 端子から音声は出力されません。音声を出力するには、HDMI 入力端子を備えた機器を接続してください。	12
ディスクが再生されない	CD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-R/RW ディスクをご使用の場合、ディスクがファイナライズ処理されているかをご確認ください。	—
	ディスクのラベル面を上向き（データ面を下向き）にして、ディスクトレイにセットしてください。	16
	他のディスクを再生し、該当ディスクが破損しているかをご確認ください。	—
	個人で作成した JPEG、MP3、WMA ディスクをご使用の場合、ディスクに 10 個以上の JPEG ファイル、または 5 個以上の MP3、WMA ファイルが収録されているかをご確認ください。	—
	ディスクのリージョンコードをご確認ください。	3
映像が一時的に止まる	ディスクのデータ面に傷や汚れがあります。汚れている場合は、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外側に向けて拭いてください。	4
リモコンで本機を操作できない	リモコンの赤外線送信部を本体のリモコン受光窓に向けて、操作してください。	13
	リモコンの操作範囲内で操作してください。	13
	リモコンの電池を交換してください。	13
	電池の向き（+ / - 極性）が正しいかをご確認ください。	13
本体およびリモコンで本機を操作できない	電源コードを AC コンセントからいったん外してください。数分間待ってから電源コードを AC コンセントに再接続し、操作を行ってください。	—
ディスクを取り出せない	手動でディスクトレイを開けられます。	5
再生中に操作できない機能がある	ディスクの種類や録音状況により、操作できる機能が異なります。詳しくは各ディスクのヘルプメニューやジャケットなどの説明をご参照ください。	—
選択できないメニューがある	接続方法や再生しているディスクの種類により、選択できるメニューが異なります。	—
DivX ファイル再生時に音が出ない	本機が対応していない音声コードが使用されている場合、音声は出力されません。	—

■ DivX

DivXNetwork, Inc が開発した、映像や音声データを圧縮、伸張するプログラムです。3.11、4.x、5.x などがあります。高画質のままファイル容量を小さくすることができます。DivX 形式に映像を変換したり、作成したファイルを再生するには DivX 対応コーデイングが必要です。

■ DTS (Digital Theater Systems)

Digital Theater Systems 社が開発したデジタル・サラウンド・システムです。最大 5.1 チャンネルのサウンドが再生でき、ドルビーデジタルよりも圧縮率が低いため、リアルな音響効果が得られます。

■ DVD-Audio

高性能な音声記録用のフォーマットとして開発され、最大 6 チャンネルのマルチチャンネルサラウンドに対応しています。また、最大 192kHz/24bit での記録が可能です。

■ HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

世界業界標準規格である HDMI (High-Definition Multimedia Interface Specification) 規格に準じた、次世代テレビ向けのデジタルインターフェースです。マルチチャンネルソースのデジタル音声信号と、標準画質から高画質な映像を一本の専用ケーブルで伝送します。

■ JPEG (Joint Photographic Coding Experts Group)

静止画像を 10 分の 1 ~ 100 分の 1 に圧縮する技術です。名称は、画像圧縮アルゴリズムを制定する目的で設立された団体の名前 (Joint Photographic Coding Experts Group) に由来します。風景や写真データなどを圧縮するのに効果的です。

■ MP3 (MPEG Audio Layer-3)

高い品質を保ったまま、データ量を大幅に圧縮できる音声データ圧縮技術です。MPEG1 と MPEG2 の音声圧縮で使われています。CD 品質のデジタルサウンドデータを約 10 分の 1 に圧縮できます。

■ MPEG (Moving Pictures Experts Group)

動画および音声の圧縮規格の名称です。ISO (工業標準の策定を目的とする国際機関 International Organization for Standardization の略) と IEC (電気、電子、通信、原子力などの分野で各国の規格・標準の調整を行なう国際機関 International Electrotechnical Commission の略) が共同で標準化しました。

MPEG 1、MPEG 2、MPEG 4 の 3 つの規格があります。MPEG 1 の画質は VHS ビデオ並みで、ビデオ CD などで利用されています。MPEG 2 の画質は S-VHS ビデオ並みで、DVD ビデオなどで利用されています。

■ D 端子

映像信号の伝送に用いられる端子で、コンポーネントビデオ信号とコントロール信号 (走査線、アスペクト比、インタレース/プログレッシブの情報) を、一本の専用ケーブルで接続できます。その性能に応じてランクが D1 から D5 に分けられています。

■ S ビデオ端子

S ビデオ信号を入出力する端子です。映像信号を、輝度を表す Y 信号と色を表す C 信号に分けて伝送するため、より美しい映像で録画、再生を楽しむことができます。

■ アスペクト比

画面や画像の縦と横の長さの比率です。従来のテレビは 3 対 4、ワイドテレビなどは 9 対 16 です。

■ アナログ

データが時間的または空間的に連続して変化する量で表されることです。アナログ端子は、左右 2 つのチャンネルから音声を出力します。

■ インターレース

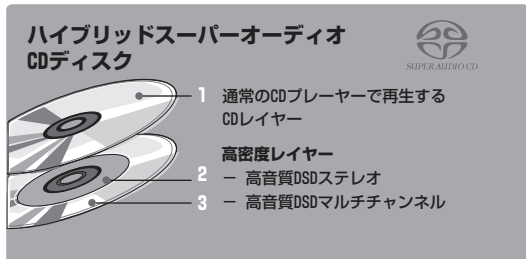
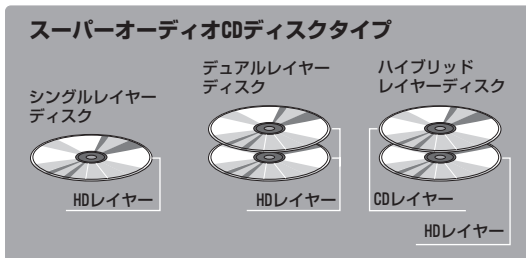
1 画面の走査線を奇数段、偶数段に分け、交互に表示する走査方式です。通常のテレビに使われています。

■ 視聴制限

青少年に好ましくないディスクや場面の視聴を拒否するために DVD ビデオに組み込まれた機能です。

■ スーパーオーディオ CD (SA-CD)

2層構造の CD で、一方の層に従来の音楽 CD データが記録され、もう一方の層に高密度なデータが記録されています。スーパーオーディオ CD には、シングルレイヤー、デュアルレイヤー、ハイブリッドレイヤーの3種類のタイプがあります。ハイブリッドレイヤーのディスクは、1層のレイヤーに2種類のデータが記録され、もう1層に従来の音楽 CD データが記録されているため、通常の CD プレーヤーでも再生できます。



■ ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル・サラウンド・システムです。完全に独立したマルチチャンネル音声を再生することができます。全帯域の音声成分を持つフロントの3チャンネル（フロントL/R、センター）と、サラウンドのステレオ2チャンネル、低音域専用の LFE0.1 チャンネルの、合計 5.1 チャンネルで構成されます。サラウンドがステレオ2チャンネルで収録されているため、音の移動感、木々のざわめきや波の音などの繊細な環境音もきめ細かく再現できます。

■ ビット

コンピューターで扱う最小の情報単位で、2進数を意味する binarydigit の略です。オーディオ用語では、アナログ信号をデジタル化する時の分解能のことを指します。ビット数が大きくなればダイナミックレンジ（小さい音と大きい音の差）が大きくなり、より細かな音量の変化が記録できます。音楽 CD のビット数は 16bit(ビット)、DVD オーディオでは最大 24bit(ビット)です。

■ ビットレート

1秒間あたりのビット量です。

■ プレイバックコントロール (PBC)

テレビ画面に表示されるメニュー画面を見ながら、ビデオ CD やスーパービデオ CD の見たい場面や情報を選ぶことができる機能です。

■ プログレッシブ

1画面のすべての走査線を1度に表示する走査方式です。インターレースに比べ、ちらつきが少なく滑らかな画像を映し出すことができます。

■ リージョンコード

DVD ビデオの再生可能地域を限定するコードです。映画上映前の地域に DVD ビデオが出回らないことを目的に、DVD に組み込まれています。リージョンコードは全部で6つあり、地域ごとに割り当てられています。DVD プレーヤーとディスクのリージョンコードが一致しないと再生できません。

■ HDMI 端子の音声出力

ディスクの種類 / 音声フォーマット		「アナログ出力」の設定	「HDMI オーディオ」の設定		
			オート*1	PCM	Off
DVD-Video	ドルビーデジタル	マルチチャンネル	ドルビーデジタル	PCM マルチチャンネル *2	出力オフ
		ステレオ		PCM 2チャンネル	
	DTS	マルチチャンネル	DTS	PCM マルチチャンネル *2	
		ステレオ		PCM 2チャンネル	
	MPEG	マルチチャンネル	MPEG	PCM マルチチャンネル *2	
		ステレオ		PCM 2チャンネル	
PCM 2チャンネル *4	マルチチャンネル / ステレオ	PCM 2チャンネル	PCM 2チャンネル		
DVD-Audio	マルチチャンネル	マルチチャンネル	PCM (PPCM) マルチチャンネル *2 *3	PCM (PPCM) マルチチャンネル *2 *3	
		ステレオ	PCM (PPCM) 2チャンネル *3	PCM (PPCM) 2チャンネル *3	
	2チャンネル *4	マルチチャンネル / ステレオ	PCM (PPCM) 2チャンネル	PCM (PPCM) 2チャンネル	
CD/MP3/ WMA/DivX	2チャンネル	マルチチャンネル / ステレオ	PCM 2チャンネル	PCM 2チャンネル	
DTS-CD	マルチチャンネル	マルチチャンネル	DTS	PCM マルチチャンネル *2	
		ステレオ		PCM 2チャンネル	
	2チャンネル	マルチチャンネル / ステレオ		PCM 2チャンネル	
VCD	2チャンネル	マルチチャンネル / ステレオ	PCM 2チャンネル	PCM 2チャンネル	
SVCD	マルチチャンネル	マルチチャンネル	MPEG	PCM マルチチャンネル *2	
		ステレオ		PCM 2チャンネル	
	2チャンネル	マルチチャンネル / ステレオ		PCM 2チャンネル	
SA-CD	マルチチャンネル / 2チャンネル	マルチチャンネル / ステレオ	-	-	-

*1: 接続した HDMI 機器がビットストリーム信号（ドルビーデジタル、DTS、MPEG）に対応していない場合、自動的に PCM 信号に変換されて出力されます。

*2: 接続した HDMI 機器がマルチチャンネル出力に対応していない場合、自動的に 2チャンネルの PCM 信号（サンプリング周波数 48kHz / 16bit 以下）に変換されて出力されます。

*3: ダウンミックスが禁止されているソースを再生した場合、ダウンミックスが行われずに、2チャンネル音声（サンプリング周波数 48kHz / 16bit 以下）が出力されます。

*4: 接続した HDMI 機器が 48kHz を超えるサンプリング周波数に対応していない場合、自動的にサンプリング周波数が 48kHz / 16bit 以下の音声に変換されて出力されます。

主な仕様

再生可能なディスク

- ・ DVD-Video
- ・ DVD-Audio
- ・ DVD-R、DVD-RW
- ・ DVD+R、DVD+RW、DVD+R DL
- ・ VCD、SVCD
- ・ SA-CD (マルチチャンネル、ステレオ)
- ・ CD
- ・ ピクチャー CD
- ・ CD-R、CD-RW

ビデオ部性能

- ・ コンポジットビデオ出力 1.0Vp-p/75Ω
- ・ Sビデオ出力 Y: 1.0Vp-p/75Ω
C: 0.3Vp-p/75Ω
- ・ D端子出力 Y: 1.0Vp-p/75Ω
Pb/Cb、Pr/Cr: 0.7Vp-p/75Ω

オーディオフォーマット

- ・ デジタル
 - ドルビーデジタル /DTS/MPEG 圧縮デジタル
 - PCM 16、20、24ビット
 - サンプリング周波数 44.1、48、88.2、96kHz
 - MP3(ISO9660) 32 ~ 320kbps
 - サンプリング周波数 16、22.05、24、32、44.1、48kHz
 - WMA 64 ~ 320kbps、モノ、ステレオ
- ・ ドルビーデジタル、DTS マルチチャンネルフルデコーダー
- ・ アナログステレオ
- ・ ドルビーサラウンド対応ダウンミックス (ドルビーデジタルマルチチャンネルから)

オーディオ部性能

- ・ DA コンバーター 24bit/192kHz
- ・ SN 比 (1kHz) 115dB
- ・ ダイナミックレンジ (1kHz) 105dB
- ・ 再生周波数帯域
 - DVD 2Hz ~ 44kHz (96kHz)
 - 2Hz ~ 22kHz (48kHz)
- ・ SVCD 2Hz ~ 22kHz (48kHz)
- 2Hz ~ 20kHz (44.1kHz)
- ・ CD 2Hz ~ 20kHz (44.1kHz)
- ・ 全高調波歪率 (1kHz) 0.002%

ビデオ信号方式

- ・ 走査線数 PAL:625、NTSC:525
- ・ 垂直周波数 PAL:50Hz、NTSC:60Hz
- ・ 再生 マルチ (PAL、NTSC)

接続部

- ・ コンポジットビデオ出力 1 (黄)
- ・ Sビデオ出力 1 (ミニ DIN、4ピン)
- ・ D端子出力 (Y、Pb/Cb、Pr/Cr) 1
- ・ デジタル出力
 - 同軸デジタル 1 (橙)
 - 光デジタル 1 (CDDA、LPCM、MPEG 1/2、ドルビーデジタル、DTS)
- ・ HDMI 1 (タイプ A)
- ・ 2チャンネルアナログ出力 (L/R) 1組 (白/赤)
- ・ 6チャンネルアナログ出力
 - フロント L/R 音声 1組 (白/赤)
 - サラウンド L/R 音声 1組 (白/赤)
 - センター音声 1 (黒)
 - サブウーファー音声 1 (黒)

キャビネット部

- ・ 外形寸法 (幅×奥行×高さ) 435 × 284.5 × 87mm
- ・ 質量 3.3kg

電源部

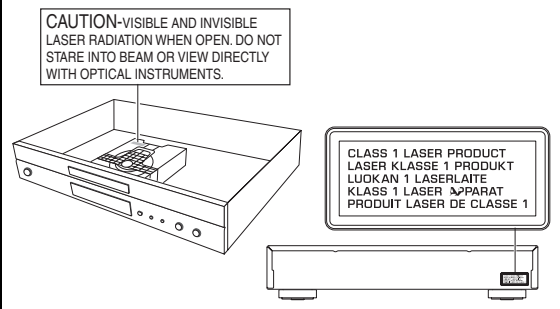
- ・ 電源電圧 / 周波数 AC100V、50/60Hz
- ・ 消費電力 約 21W
- ・ 待機時消費電力 0.5W 以下

レーザー

- タイプ 半導体レーザー GaAlAs
- 波長 650nm (DVD)、790nm (VCD/CD)
- 出力 1.45mW (DVD)、1.13mW (VCD/CD)
- ビーム広がり 60度

ご注意

この取扱説明書の記載内容以外の調節や操作は有害な放射を引き起こす可能性があります。



仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考
にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

■ AVお客様ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)



0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル
(全国共通)



0570-01-2808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口

受付日：月～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市東区和田町200
ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、
一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する
部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせ
ください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部
品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージン
グの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が
使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間
等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を
交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品
修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、
ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

* このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載して
おります。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

